

## V. 昭和49年度の研究成果発表の状況

### 出 版 物

本所発行の研究発表、紹介の出版物としては次の3種がある。そのほかには年次要覧(年刊)、生研案内和文および英文(いずれも隔年)がある。

#### 東京大学生産技術研究所報告(略称:生研報告)

所員のまとまった研究成果を発表する。本文は和文または欧文とし、不定期発行で年間平均8冊前後を刊行している。

#### 生 産 研 究

研究の解説的紹介と速報的紹介とをかね、月刊で発行している。

以上は、本所の発行の分で、その他随時に学会誌、協会誌、その他の雑誌に研究を発表している。

#### 生研リーフレット

生研の研究成果で、実用化への手引とするため、写真中心に簡略に編集したもので、現在まで112種を発行している。

### A. 東京大学生産技術研究所報告(不定期刊・研究発表誌)

昭和49年度(49年4月~50年3月)に発表したものを次の表に示す。

巻 号	題 目	著 者	発行年月
23・5	高炉の送風限界に関する研究	中根 千富・館 充 桑野 芳一, 外	1974. 6
23・6	矯正加工の力学的諸特性 に関する総合的研究(英文)	荒木甚一郎・鈴木 弘 山本 直道, 外	1974. 9
24・1	サイリスタインバータによって 駆動される誘導電動機の動作特性 に関する研究(英文)	原島 文雄	1974. 10
24・2	3成分系ガラス化範囲(4)a-族テルライト系	今岡 稔・山崎 敏子	1975. 1
24・3	Turks Head による引抜の研究(英文)	荒木甚一郎・鈴木 弘	1975. 3
24・4	Cu-Cr 合金の時効および復元現象に ついて(英文)	長田 和雄・西川 精一	1975. 3
24・5	沈埋トンネルの地震時の挙動(英文)	田村重四郎・岡本 舜三 浜田 政則	1975. 3

## B. 生産研究

巻号 (発行年月)	通し ページ	題 目	著 者	
26 巻 4 号 (49 年 4 月)	131	アコースティック・エミッションの計測技術 (研究解説)	山口 楠雄	
	138	格子変調法による等濃度線画像の作成 (研究解説)	立田 光広・久保田敏弘 小瀬 輝次	
	145	亜鉛製錬所排煙による重金属汚染(調査報告)	原 善四郎	
	148	計算制御のための流量予測シミュレーション (研究速報)	山口 楠雄・嶋田 淑男	
	152	円筒液体貯槽の液面動揺の応答 第2報 —正弦波過渡応答解—(研究速報)	曾我部 潔・柴田 碧	
	155	On the Critical Size of Drop Detachment During the Process of Dropwise Condensation (II) (研究速報)	落合 淳一・棚沢 一郎	
	158	液体クロマトグラフィによる PTH アミノ酸の 分離	山辺 武郎・中村 亘志 高井 信治	
	162	原 研究室(研究室紹介)	原 広司	
	26 巻 5 号 (49 年 5 月)	163	生体膜と化学反応制御(研究解説)	豊島 喜則・野崎 弘
		171	テンションリールの力学特性の考察 第2報 —コイル内にスリップのある場合—(研究 速報)	阿高 松男・鈴木 弘
174		LiF 単結晶の低温における降伏強度 —バイエルス機構—(研究速報)	金 鉉奎・中村 和夫 鈴木敬愛	
178		塩化ビニルの熱分解による炭素吸着剤の製造 とそれを用いた液体クロマトグラフィーの 研究(研究速報)	山辺 武郎・高井 信治	
181		閉鎖的空間内の気流性状(研究速報)	勝田 高司・村上 周三 小林 信行・戸河里 敏	
188		Nematic Liquid Crystal as an Anisotropic Solvent in Spectroscopic Measurements (研究速報)	渡辺 正・鋤柄 光則 本多 健一	
191		高木研究室(研究室紹介)	高木 幹雄	
25 巻 6 号 (49 年 6 月)		193	退官記念講演 X線応力測定とX線透過試験 (研究解説)	一色 貞文
	202	梁理論の精密化に関する二、三の試み(その5) —梁の剪断変形理論(続)—(研究解説)	川井 忠彦・藤谷 義信	
	217	有限要素法における最近の固有値問題解法 (研究解説)	山田 嘉昭・佐藤 俊雄	
	226	温風暖房時の室内温度分布に対するアルキメ デス数の影響(研究速報)	勝田 高司・村上 周三 小林 信行・戸河里 敏	
	231	Dropwise Condensation—the Effect of the Critical Size of Drop Detachment (II) (研究速報)	棚沢 一郎・落合 淳一 塩治震太郎・宇高 義郎	
	233	ビニルエステル系ポラスポリマーを用いる 安息香酸エステルのクロマトグラフィー (研究速報)	高井 信治・高木亮一郎 山辺 武郎	

	237 Effect of Forging Conditions on the Surface Pores of Powder Forged Products (研究速報)	中川 威雄・高野 豊晴 シー・エス・シャルマ・ 天野 富男
26 巻 7 号 (49 年 7 月)	243 高梨研究室 (研究室紹介)	高梨 晃一
	247 ERTS-1 データを用いた首都圏の人口密度の推定 (研究解説)	村井 俊治・恒松 浩
	254 計装プロジェクトにおけるマネジメント手法およびその適要の研究 (研究解説)	芥川 伸・山口 楠雄
	259 海外産業施設地震被害調査報告—球形タンクおよび円筒タンク—(調査報告)	柴田 碧
	265 発振源移動による地盤内の波動伝播状況に関する実験的研究 (研究速報)	森地 重暉・田村重四郎
	271 軸対称液体貯槽の液面動揺の固有周期計算法に対する一提案	曾我部 潔
	275 Concentration Decay in a Batch Adsorption Tank—Freundlich Isotherm with Surface Diffusion Kinetics—(研究速報)	鈴木 基之・河添邦太郎
	278 スチレン系ポラスポリマーに関する基礎的研究とそれを用いたクロマトグラフィー (研究速報)	高井 信治・山辺 武郎
26 巻 8 号 (49 年 8 月)	282 大野研究室 (研究室紹介)	大野 進一
	283 東京大学生産技術研究所における計算機運用システムの開発について(その1)(研究解説)	古谷 千恵・柴再 碧
	287 地球資源衛星デジタルデータの多次元画像解析 (研究解説)	村井 俊治・辻内 延行
	296 Concentration Decay in a Batch Adsorption Tank—Freundlich Isotherm with Pore Diffusion Kinetics—(研究速報)	鈴木 基之・河添邦太郎
	300 抵抗焼結法による繊維無化金属の製造の望み (第1報)(研究速報)	原 善四郎・明智 清明 板橋 正雄
	304 レーザ光による実時間表面あらさ測定装置の試作について (研究速報)	三井 公之・佐藤 寿芳
	309 円筒液体貯槽の液面動揺の応答 第3報—正弦波過渡応答の簡易計算法—(研究速報)	曾我部 潔・柴田 碧
	313 LiF の低温における変形の活性化体積 (研究速報)	金 鉉奎・中村 和夫 鈴木 敬愛
	315 高分子複合材料の熱伝導に関する研究 第2報—Schröder 法による PVC—黒鉛系の測定—(研究速報)	荻野 圭三・橋本 信男 高橋 浩
	318 金属における粒界拡散のもう一つの解 (研究速報)	梅津 清・西川 精一
	323 Reevaluation of Rayleigh-Ritz's Method in Structural Mechanics(研究速報)	川井 忠彦
26 巻 9 号 (49 年 9 月)	326 原島研究室 (研究室紹介)	原島 文雄
	327 東京大学生産技術研究所における計算機運用システムの開発について(その2)(研究解説)	古谷 千恵・柴田 碧
	332 滴状凝縮のメカニズムについてわれわれは何を知らないか (研究解説)	柵沢 一郎

	340 抵抗焼結法による繊維強化金属の製造の試み (第2報)(研究速報)	原 善四郎・明智 清明 板橋 正雄
	343 ポーラスポリマーを用いる小形カラムの液体 クロマトグラフィー (研究速報)	高井 信治・山辺 武郎
	346 高周波プラズマの数値解析 (研究速報)	六戸部豊信・明石 和夫
	351 写真撮影による簡単な高周波プラズマの診断 (研究速報)	六戸部豊信・明石 和夫
	355 球形タンク内部の液体の液面動揺の固有周期 の半実験式及び計算図表 (研究速報)	曾我部 潔
	359 片山研究室 (研究室紹介)	片山 恒雄
26 卷 10 号 (49 年 10 月)	361 レーザーミラーの品質 (研究解説)	小倉 磐夫
	368 高周波プラズマトーチを利用した球状化粒子 及び超微粉体の作成 (研究速報)	六戸部豊信・明石 和夫
	373 混合 Pellet の還元に与える SiO <sub>2</sub> の影響 (研究速報)	李 海洙・館 充
	376 Optimization of Cycle Time for Com- puterized Traffic Signal Systems (研究速報)	越 正毅
	380 Post-Bifurcation Analysis of Shallow Spherical Shells under Uniform Pressure (研究速報)	遠藤 彰・川股 重也 半谷 裕彦
	386 真空 X 線二結晶スペクトロメータの製作と回 折過程における励起電子の測定(研究速報)	菊田 惺志・高橋 敏男 辻 泰・福留 理一
	391 粒界拡散方程式 [1] (研究速報)	梅津 清・西川 精一
	395 泡模形によるディスクリネーションの観察 (研究速報)	石田 洋一・井山 俊司
	399 中川研究室 (研究室紹介)	中川 威雄
26 卷 11 号 (49 年 11 月)	401 「都市における災害と公害防除」の大型研究 の3ヶ年を終えるに際して (巻頭言)	所長 鈴木 弘
都市にお ける災害・公 害の防除に 関する研究 特集	402 都市における災害公害の防除に関する第1次 臨時事業の終結に当たって一委員会幹事の 立場から一(特集1)	川井 忠彦
	403 都市構造物の耐震強度の調査研究概要 (特集 2)	久保慶三郎
	408 水道管の震害特性 (特集2・1)	久保慶三郎・片山 恒雄
	413 電算機一試験機オンラインシステムによる構 造物の地震時崩壊の解析 (特集2・2)	高梨 晃一・宇田川邦明 関 松太郎・田中 尚
	426 インパルス応答のパワースペクトルによる減 衰定数推定の一方法 (特集2・3)	三井 公之・佐藤 寿芳
	431 振動減衰機構の開発研究 (特集2・4)	川股 重也・米田 護 半谷 裕彦
	437 都市交通公害対策の調査研究概要 (特集3)	越 正毅
	439 自動車騒音の実態について (第2報)(特集 3・1)	亘理 厚・大野 進一 立石 泰三・西山 正一
	442 公害振動について (特集3・2)	高橋 伸晃・岩元 貞雄
	446 道路交通騒音とその周辺建物への伝播 (特集 3・3)	大野 進一 石井 聖光・橋 秀樹 山口 道征

455	雷に対する電力供給システムの絶縁信頼度 (特集3・4)	河村 達雄・北条 準一 石井 勝
460	交通制御方策検討のための自動車交通流のシミュレーション (特集3・5)	高羽 禎雄・浜田 喬 田代文之助・谷口 忠勝 兼子 隆・藤田 一彦 上村 務
467	交通信号制御手法に関する実験的研究 (特集3・6)	越 正毅
476	都市廃棄物対策の開発研究概要 (特集4)	武藤 義一・妹尾 学
480	プラスチックの光分解に関する研究 (特集4・1)	本多 建一・鋤柄 光則 中村賢市郎・阿部 隆夫
485	光崩壊性高分子の開発研究 (特集4・2)	妹尾 学・白石 振作 石井 正雄
490	プラスチック—無機充填剤系複合組成物に関する研究 (特集4・3)	高橋 浩
495	プラスチックの熱分解による炭素系吸着剤の製造に関する研究 (特集4・4)	山辺 武郎
499	プラスチック廃棄物の熱分解による油の回収 (特集4・5)	鈴木 基之
503	廃棄物とプラスチック (特集4・6)	中村 亦夫
509	中桐研究室 (研究室紹介)	中桐 滋
26 卷 12 号 (49 年 12 月)	511 コンクリートと複合一複合系としてのコンクリート— (研究解説)	小林 一輔
	518 南伊豆における危険物・火災を中心とした地震被害—1974 年 5 月 9 日— (調査報号)	柴田 碧・藤田 隆史 原 文雄
	523 アルミニウム粉末の焼結現象におよぼす Mixing 処理の影響 (研究速報)	明智 清明・原 善四郎
	527 気相成長した鉄双結晶境界の電子チャンネルングパターンによる解析 (研究速報)	石田 洋一・山本 敏行
	531 鋼繊維補強コンクリートの諸性状と繊維の形状特性 (研究速報)	小林 一輔・伊藤 利治 星野 富夫
	534 菊田研究室 (研究室紹介)	菊田 惺志
	535 生産研究 1974 年 (生研報告 1974 年発行リスト付) (総索引)	
27 卷 1 号 (50 年 1 月)	1 年頭にあたって (巻頭言)	武藤 義一
	2 染色加工工業における廃水処理 (研究解説)	浅原 照三・早野 茂夫 鈴木 基之
	9 光起電体—絶縁体複合層を用いる電子写真の諸法とそれぞれの写真過程における複合層の意義 (研究解説)	野崎 弘
	19 東京都 23 区内自動車走行台キロの推定 (研究速報)	越 正毅・大蔵 泉 茨木 康男
	23 <i>N</i> -クロルアルキルアミンとアルキルアミンとの反応 (研究速報)	大谷 規隆・妹尾 学 浅原 照三
	27 A Note on the Finite Element Analysis of Transient Heat Conduction with	中桐 滋

Special Reference to the Time Increment

(研究速報)

- |                         |   |                            |
|-------------------------|---|----------------------------|
| 27 卷 2 号<br>(50 年 2 月)  | 30 ナイロン 6 を用いる逆浸透膜の研究(その 1) —逆浸透膜の調整とその性能について— (研究速報)                                     | 吉田章一郎・山辺 武郎                |
|                         | 35 白石研究室 (研究室紹介)  | 白石 振作                      |
|                         | 37 精製糖工場排水の処理について (研究解説)  | 鈴木 基之・多田 敬幸<br>河添邦太郎       |
|                         | 44 1974 年伊豆半島沖地震の被害調査報告 (調査報告)  | 田村重四郎                      |
|                         | 65 Numerical Experiments of Higher-Order Approximate Solutions of Neumann Problems (研究速報) | 田端 正久                      |
|                         | 72 電頭格子像による金蒸着膜粒界の観察 (研究速報)   | 石田 洋一・田中 昭<br>渡辺 栄一        |
|                         | 76 Al 中の <sup>119</sup> Sn のメスbauer スペクトル (研究速報)  | 梅山 伸二・佐々 紘一                |
|                         | 80 電子線照射した Al 中の <sup>119</sup> Sn のメスbauer スペクトル (研究速報)                                  | 石田 洋一・加藤 正夫<br>梅山 伸二・佐々 紘一 |
|                         | 84 応答曲線を用いた機械構造物の各次振動特性の分離法—第 3 報 掃引速度の影響— (研究速報)   | 石田 洋一・加藤 正夫<br>高橋 伸晃       |
|                         | 88 レジンコンクリートの強度に影響を及ぼす 2, 3 の要因 (研究速報)  | 小林 一輔・伊藤 利治<br>西村 次男       |
|                         | 91 極低温における MOS 電界効果トランジスタの特性 (研究速報)   | 宮川 尚憲・安達 芳夫<br>生駒 俊男       |
|                         | 98 岡田研究室 (研究室紹介)  | 岡田 恒男                      |
| 27 卷 3 号<br>(50 年 3 月)  | 99 「都市の災害公害防除」の第 2 次大型研究の成果に期待する (巻頭言)  | 武藤 義一                      |
| 都市における災害・公害の防除に関する研究小特集 | 100 小特集 (その 4) の発刊に当たって (特集 1)  | 川井 忠彦                      |
|                         | 101 都市環境の汚染計測・防除に関する研究概要 (特集 2)   | 河添邦太郎                      |
|                         | 102 大気中の窒素酸化物の測定 (特集 2・1)   | 早野 茂夫                      |
|                         | 104 廃水中の活性炭による有機物の除去の研究 (特集 2・2)  | 河添邦太郎・鈴木 康夫<br>杉山衣世子       |
|                         | 108 河川における汚染物質の拡散の研究—多摩川底質中のカドミウムの蓄積を主に— (特集 2・3)   | 鈴木 基之・山田 敏雅<br>宮崎 敏郎・河添邦太郎 |
|                         | 113 都市情報の総合的収集・処理に関する研究—総論 (特集 3)   | 尾上 守夫                      |
|                         | 114 非常災害対策用広域多点情報収集システムに関する研究 (特集 3・1)  | 安田 靖彦                      |
|                         | 118 多次元画像情報処理による都市情報の処理に関する研究 (特集 3・2)  |                            |
|                         | 多次元画像情報処理による都市情報の処理 (3・2・1)   | 尾上 守夫・高木 幹雄                |
|                         | 122 光ヘテロダイン方式による汚染物質分布の測定 (特集 3・2・2)  | 藤井 陽一                      |
|                         | 124 巨大構造物の破壊予知情報の収集と標定に関  |                            |

- する研究 (特集 3・3)
- |                                       |             |
|---------------------------------------|-------------|
| 多チャンネル A E 標定装置の開発 (特集 3・3・1)         | 山口 楠雄       |
| 127 材料の A E 特性 (特集 3・3・2)             | 鳥飼 安生       |
| 128 都市災害・公害の最適防護システムに関する研究計画概要 (特集 4) | 川井 忠彦       |
| 130 大震災火災時における住民避難の最適化 (特集 4・1)       | 藤田 隆史       |
| 136 大気汚染制御の一方法 (特集 4・2)               | 大島康次郎・長倉 輝  |
| 139 建物周辺に発生する強風に関する研究 (特集 4・3)        | 勝田 高司・村上 周三 |
| 148 災害・公害に対する電力系統の信頼度向上 (特集 4・4)      | 池田 耕一・上原 清  |
| 152 木内研究室 (研究室紹介)                     | 河村 達雄・原島 文雄 |
|                                       | 木内 学        |

## C. 生研リーフレット

49年度は都合により発行しなかった。

## D. 著書および学術雑誌などに発表したもの

一表題は原文表題

一各項目末尾の数字、文字は、順に巻(太字)、号、ページ、発行所名、年、月(西暦)を示す。巻のないものは、文字でその呼称を示す

### 第 1 部

教授 大井光四郎 (OI Koshiro)

新しいバタンのはくゲージについて (小倉公達・平野八州男と共著) 日機誌, 77, 668, 703~708, 日本機械学会, 1974, 7.

On Foil Strain Gage of New Pattern (coauthors: K. Ogura, Y. Hirano) Preprint of JSME-ASME Joint Conference on Applied Mechanics, 24~26 March 1975, 8.

教授 鳥飼 安生 (TORIKAI Yasuo)

収束音源によるパルス超音波音場の計算: 日本音響学会講演論文集, 459~460, 1974. 6.  
引張試験片における Acoustic Emission の計測 (李孝雄・松崎均と共著): 日本音響学会講演論文集, 411~412, 1974. 10.

パルス超音波音場の計算: 電気関係学会関西支部連合大会講演論文集, S 82, 1974. 11.

パルス超音波音場の計算: 超音波研究会資料, U S 74-30, 1974. 11.

教授 山田 嘉昭 (YAMADA Yoshiaki)

Effect of Time-Dependent Material Properties on Dynamic Response (coaut-163

- horo : H. takabatake, T. Sato) : International Journal for Numerical Methods in Engineering, 8, 403~414, 1974.
- Large Deformation and Critical Loads Analysis of Framed Structures (coauthors : K. Iwata, T. Kakimi, T. Hosomura) : Computational Methods in Nonlinear Mechanics (editor J. T. Oden, et al. ), The Texas Institute for Computational Mechanics, 819~828, 1974.
- 有限要素法による最近の固有値問題解法(佐藤俊雄と共著) : 生産研究, 26, 6, 217~225, 1974
- 定ひずみ速度試験による複合材料の静的粘弾性係数の評価(山本昌孝・輪竹千三郎と共著) : 第7回複合材料シンポジウム発表報文集, 日本科学技術連盟, 25~29, 1974, 10.
- 粘弾性体の周波数応答解析(1)~(6)(小林雅隆と共著) : 機械の研究, 26, 4, 5, 6, 7, 9, 10, 561~566, 707~711, 817~821, 953~958, 1191~1195, 1299~1302, 1974, 4, 5, 6, 7, 9, 10.
- 粘弾性体の周波数応答解析(7), (8)(佐藤俊雄, 高畑秀行と共著) : 機械の研究, 21, 11, 12, 1444~1448, 1575~1579, 1974, 11, 12.
- 非線形問題解析の増分形定式化 : 有限要素法の応用に関する講習会テキスト, 日本鋼構造協会, 1~40, 1974, 3.
- In-Plane Strain Measurement by Multiplied Fringe Shift Moire Technique (coauthors : K. Matsumoto, T. Okuno, M. Takashima, S. Watake) : Supplement of Japanese Journal of Applied Physics, 195~199, 1975, 3.
- 高モアレひずみ測定器の試作と測定例(松本和也, 輪竹千三郎ほかと共著) : 第7回応力・ひずみ測定シンポジウム論文集, 日本非破壊検査協会, 89~93, 1975, 2.

教授 北川 英夫 (KITAGAWA Hideo)

- Some Recent Japanese Results in the Fracture Mechanics Approaches to Fatigue Crack Problems Related to Welded Structures : Significance of Defects in Welded Structures, Maruzen Co Ltd, 248, 1974
- Refinements of the Crack Models for Subcritical Crack Growth, (coauthors : I. Susuki, R. Yuuki, O. Sakazume : US—Japan Seminar on the Strength and Structure of Solid Materials, Syracuse, USA, 148, 1974, 10.
- Crack—Morphological Aspects in Fracture Mechanics (coauthors : R. Yuuki, I. Susuki) : Japan—U. S Seminar on Combined Nonlinear (Micro and Macro) Fracture Mechanics Application to Modern Engineering Structures, Sendai, 2—2—1, 1974, 8.
- Some Reliability Approaches in Fracture Mechanics; (coauthor I. Susuki) : Japan-US Joint Seminar on Reliability Approach in Structural Engineering,



Tokyo, No. 6, 1974—5

金属材料疲れ強さの設計資料, III, 環境効果, 第2章材質と環境効果(高島弘義, 田中英司と共著)第7章き裂進展速度と環境効果(永井欣一・山内英和と共著):日本機械学会, 1974—3

環境強度への破壊力学的アプローチの側面——環境を考慮した強度的欠陥評価の試み:第19回材料強度と破壊, 国内総合シンポジウム論文集, 73, 1974. 4

疲労破壊と破壊力学:第686回工経連講座, 4—1, 工業経済連盟, 1974. 8

環境破壊工学:第685回工経連講座, 工業経済連盟 4—1, 1974—7

き裂の干渉と疲れによる成長(分布き裂の研究, 第1報)(薄一平と共著):機械学会講演論文集 No. 740—10, 227, 1974. 9

フラクトグラフィによる疲労破断事故解析の有効性についての統計的検討(ストライエーション間隔と巨視的き裂伝播速度の関係を主として)(池田健・谷安正・井村泰三・豊平重孝と共著):日本機械学会講演論文集 No. 740—10, 257, 1974. 9

腐食疲労の破壊力学と問題点:第21回腐食防食討論会講演要旨集(特別講演), 78, 1974. 9

複合材料の疲労破壊の基礎的研究(その2)——給合界面に直角な疲労き裂——(山崎淳一 渡辺勝彦 Y. S. Choy と共著):第7回複合材料シンポジウム発表報文集, 175, 1974. 10

二次元応力状態における分岐き裂の応力拡大係数(結城良治と共著):日本機械学会講演論文集, 740—11, 171, 1974. 11

圧縮破壊強度に関する破壊力学的研究(第1報, プラスチックき裂板の基本的圧縮破壊特性)(金相哲と共著):日本機械学会講演論文集, 740—11, 235, 1974. 11

ステンレス鋼の応力腐食われへの破壊力学の適用可能性(大平寿昭と共著):日本機械学会講演論文集, 740—11, 263, 1974. 11

腐食疲れき裂の分布特性と成長特性(分布き裂の研究, 第2報)(宮沢邦幸・薄一平と共著):日本機械学会東北支部講演論文集, 74—2, 17, 1974. 11

不規則分布き裂の干渉, 合体の破壊過程のシミュレーションによる解析(分布き裂の研究, 第3報)(薄一平と共著):日本機械学会東北支部講演論文集, 74—2, 21, 1974. 11

環境強度問題への破壊力学の適要:日本材料学会腐食防食部門委員会資料, 12, 68, 5, 23, 1974. 11

遅水破壊その他の環境破壊:航空宇宙工学便覧 日本航空宇宙学会, 丸善, 495, 1974—12  
疲れき裂成長についてのX線的研究("X線フラクトグラフィ"による破面研究の一方  
について)(松本年男と共著):日本機械学会論文集 41, 341, 22, 1975. 1

腐食疲労の破壊力学と問題点(I):防食技術 24—1, 1975. 1

腐食疲労の破壊力学と問題点(II):防食技術 24—2 1975. 2

破壊力学によるコンクリート構造物の強度解析(第1報)——モルタルの破壊靱性——

(陶山正憲と共著)：土木学会第2回関東支部年次研究発表会講演概要集, 373, 1975—1

疲れき裂成長についてのX線的研究("X線フラクトグラフィ"による破面研究の一方法について)：機械学会論文集, 41—341, 22, 1975—1

圧縮強度試験に関する破壊力学的研究(金相哲・陶山正憲と共著)：第9回岩盤力学に関するシンポジウム講演概要, 16, 1975—2

き裂材としての岩盤強度の破壊力学的考察(陶山正憲・結城良治と共著)：第9回岩盤力学に関するシンポジウム講演概要, 76, 1975—2

#### 教授 小瀬 輝次 (OSE Teruji)

Effect of truncation of noisy line spread function in the computed optical transfer function (coauthor : M.Takeda) : *Optica Acta*, Vol.21 No.6, 477~487, 1974

多重スリット走査式 MTF 測定機の試作(武田光夫・朝枝剛・山口意颯男と共著)：光学, Vol.3 No.6, 347~355, 1974

二重変換法による簡便な OTF 計算法(武田光夫・川淵正己と共著)：光学, Vol.3 No.6, 373~382, 1974

Standard of OTF in Japan (coauthor : K.Murata) : *Proceeding of Image Assessment and specification*, p.73 (1974) Oct. (Society of Photo-optical Instrumentation Engineers)

#### 教授 成瀬 文雄 (NARUSE Humio)

壁があるときの任意物体のおそい運動：日本物理学会分科会予稿集, 4, 44, 1974・4.

3次元任意物体のまわりのおそい流れ：京都大学数理解析研究所講究録, 214, 26~41, 1974 3.

2次元任意物体を過ぎるおそい流れ：京都大学数理解析研究所講究録, 234, 4~39, 1975. 3.

#### 教授 辻 泰 (TUZI Yutaka)

Simultaneous Adsorption of Nitrogen and Mercury on a Pyrex Glass Surface (coauthors: M. Kobayashi, K. Asao): *Proc. 6th Internl. Vacuum Congr.* 1974, Japan. *J.-Appl Phys. Suppl.* 2, Pt. 1, 331~334, 1974.

Initial Oxidation of Molybdenum (110) Surface Observed by AES and LEED (coauthor: T.Miura): *Proc. 2nd Internl. Conf. on Solid Surfaces*, 1974, Japan. *J. appl Phys. Suppl.* 2, Pt. 2, 85~88, 1974.

教授 根岸 勝雄 (NEGISHI Katsuo)

- ブラグ反射法による液体中の UHF 超音波の吸収測定 (高木堅志郎と共著) : 日本音響学会講演論文集, 177~178, 1974・6,
- 高分解能ブラグ反射法による液体中の UHF 超音波の音速測定 (高木堅志郎と共著) : 日本音響学会講演論文集, 409~410, 1974.10.
- 高分解能ブラグ反射法 (高木堅志郎と共著) : 第 19 回音波の物性と化学討論会講演論文集, 5~6, 1974.10.
- Measurement of UHF Ultrasonic Attenuation in Liquids by Optical Heterodyne Method (coauthor : K.Takagi) : Japan.J.Appl.Phys.14, 1, 29~34, 1975.1.
- Fundamental Study of Ultrasonic Hydrogen Bubble Chamber by Measurement of Cavitation Threshold (coauthors : N.Ishihara, T.Doke et al) : Japan.J.Appl.Phys.14, 1, 101~112, 1975.1.
- High-Resolution Bragg Reflection Method for Measuring UHF Ultrasonic Velocity in Liquids (coauthor : K.Takagi) : Japan.J.Appl.Phys.14, 1, 149~150, 1975.1.
- 液体中の UHF 超音波の音速と吸収の測定法 (高木堅志郎と共著) : 応用の物理 44, 2, 163~169, 1975.2.

助教授 田村重四郎 (TAMURA Choshirō)

- ロックフィルダムの地震時の安定について (岡本舜三, 大町達夫と共著) : 土木学会第 13 回地震工学研究発表会, 1974. 7.
- 沈埋トンネルの地震時応力に対する地盤条件の影響について (岡本舜三, 浜田政則と共著) : 土木学会第 13 回地震工学研究発表会, 1974. 7.
- 発振原移動による地盤内の波動伝播状況に関する実験的研究 (森地重暉と共著) : 生産研究 26巻 7号.
- 1974 年伊豆半島沖地震の被害調査報告 : 生産研究 27巻 2号
- ロックフィルダム模型の振動破壊実験について : 貯水池保全上の最近の調問題およびロックフィルダムの耐震設計に関する諸問題(第 6 回ダム技術講演討論会テキスト):(社)日本大ダム会議, 1974. 3.

助教授 小倉 磐夫 (OGURA Iwao)

- Determination of Transition Probabilities through Stimulated Emission in Rare Gas Ions (coauthor : O. Karatsu) : J. Appl. Phys. 41, 317~322. 1974 1.
- Lifetime Measurement of Cd II by Lamdip Method (coauthors : S. Watanabe, K. Kuroda, M. Chihara) : J. J. Appl. Phys. Suppl. 14—1. 99~103. 1975. 1.

The Determination Transition Probabilities through Stimulated Emission in Rare Gas Ions (coauthor : O. Karatsu) : J. J. Appl. Phys. Suppl. 14—1. 111~116. 1975. 1.

単一モード He-Cd レーザにおける Lambdip の測定 (II) (渡部俊太郎・黒田和男・千原正男と共著) : 第 22 回応用物理学関係連合講演会講演予稿集, I : 361, 1974. 4.

単一モード He-Cd レーザにおける Lambdip の測定 (III) (黒田和男・渡部俊太郎・千原正男と共著) : I : 第 22 回応用物理学関係連合講演会講演予稿集, 362, 1974. 4.

Cross-Modulation による逆転分布の測定 (唐津 修・占部伸二と共著) : 第 22 回応用物更学関係連合講演会講演予稿集, I, 367, 1974. 4.

収差のベクトル場表示 (II) : 第 35 回応用物理学学会学術講演会講演予稿集, I, 35, 1974. 10.

球面収差のあるスリット状開口 OTF の解析的取扱い : 第 35 回応用物理学学会学術講演会講演予稿集, I, 36, 1974, 10.

edge scan 法による laser sprofile の精密測定 (飯島俊幸・唐津 修と共著) : 第 35 回応用物理学学会学術講演会講演予稿集, (唐津 修と共著) : I, 153, 1974, 10.

Ne 6328 Å 線の周波数シフト (黒田和男・渡部俊太郎・千原正男と共著) : 第 35 回応用物理学学会学術講演会講演予稿集, I, 261, 1974, 10.

金属蒸気レーザにおける Lamdip の測定 (渡部俊太郎, 黒田和男, 千原正男と共著) : 第 35 回応用物理学学会学術講演会講演予稿集, I, 262, 1974, 10.

He-Ne レーザープラズマ中の Ne IS<sub>5</sub> population density の測定 (占部伸二・渡部俊太郎・唐津 修と共著) : 第 35 回応用物理学学会学術講演会講演予稿集, I, 264, 1974, 10.

Cross-Modulation による逆転分布の測定 (II) (唐津 修・飯島俊幸と共著) : 第 35 回応用物理学学会学術講演会講演予稿集, I, 266, 1974, 10.

カメラテストにおける諸問題 : 写真工業, 33, 88~90, 1975, 2.

ビントについて : 写真工業, 33, 88~91, 1975, 2.

助教授 本間 禎一 (HOMMA Teiichi)

Nucleation and Growth Behavior of Oxide on Copper Single Crystals—Their Roles in Kinetics (coauthors : T. Yoneoka, S. Matsunaga) : Japan J. Appl. Phys, Supplement 2, Part 2, 101, 1974.

助教授 岡田 恒男 (OKADA Tsuneo)

スタッドのせん断ずれを考慮した合成梁の弾塑性解析 (李利衡と共著) : 日本建築学会大会学術講演梗概集, 1287--1288, 1974. 10

電算機一試験機オンラインシステムによる構造物の非線形地震応答解析 (高梨晃一他と

共著)：日本建築学会論文報告集，1975. 3

Strength and Ductility Evaluation of Existing Reinforced Buildings (coauthor : Boris Bresler) : EERC Report, University of California, Berkeley 1975. 3. (to be published)

助教授 中桐 滋 (NAKAGIRI Shigeru)

有限要素法によるはりの衝撃曲げ解析：日本機械学会関西支部第 232 回講演会講演論文集，20～2，1974，6

2 次元波動伝ばの有限要素解析に関する一考察(福嶋博と共著)：日本機械学会講演論文集，No.740—10，93～96，1974.11

衝撃をうける板の曲げ変形：第 24 回応用力学連合講演会，講演論文抄録集，147～148，1974. 11.

衝撃をうける平板の曲げ変形解析：第 25 回塑性加工連合講演会，講演論文集，467～470，1974. 11.

A Note on the Finite Element Analysis of Transient Heat Conduction with Special Reference to the Time Increment：生産研究，27，1，27～29，1975. 1.

助教授 鈴木 敬愛 (SUZUKI Takayoshi)

LiF の低温の降状応力(金鉉奎と共著)：日本物理学会 1974 年分科会講演予稿集 2，p.180

2 価の不純物によるイオン結晶の硬化：日本物理学会 1974 年年会講演予稿集 2，p.36

助教授 菊田 愷志 (KIKUTA Seishi)

X線顕微法とX線ホログラフィ(I)：画像技術，5，2，54～61，1974. 2.

X線顕微法とX線ホログラフィ(II)：画像技術，5，3，37～47，1974. 3.

中性子の Si 単結晶における動力学的回折現象(石川育夫，星埜禎男，高良和武と共著)：日本物理学会 1974 年春季分科会講演予稿集 2，58，1974. 4.

X-Ray Holographic Microscopy (coauthor : S. AoKi) : Japan. J. Appl. Phys. 13, 9, 1385～1392, 1974. 9.

X線の動力学的回折過程で放出される電子の強度変化(高橋敏男，辻泰と共著)：日本物理学会第 29 回年会講演予稿集 2，11，1974. 10.

真空X線二結晶スペクトロメータの製作と回折過程における励起電子の測定(高橋敏男，辻泰，福留理一と共著)：生産研究，26，10，386～390，1974. 10.

Variation of the Yield of Electron Emission from a Silicon Single Crystal with the Diffraction Condition of Exciting X-Rays (coauthors : T. TaKahashi, Y. Tuji) : Phys. Letters 50A, 6, 453～454, 1975. 1.

X線二結晶法と励起光電子による結晶の評価：結晶成長の研究，シンポジウム予稿集 3，8～11，1975. 2.

講 師 渡辺 勝彦 (WATANABE Katsuhiko)

Some Crack Problems in Structural Reliability Analysis (coauthors : H. Okamura, Y. Naito) : Proc. the Japan-U. S. Joint-Seminar on Reliability Approach in Structural Engineering, 1974. 5.

Deformation and Strength of Cracked Member under Bending Moment and Axial Force (coauthors : H. Okamura, T. Takano) : Proc. Japan-U. S. Seminar on Combined Nonlinear and Linear (Micro and Macro) Fracture Mechanics Applications to Modern Structures, 1974. 8.

クラックを有する部材の変形と強度 (第6報，外側き裂材の曲げ変形に及ぼす軸力の影響) (岡村弘之・高野太刀雄と共著) : 日本機械学会講演論文集 No. 744—1, 44, 1974.

複合材料の疲労破壊の基礎的研究 (その2) —結合界面に直角な疲労き裂の成長— (山崎淳一・Y. S. Choy, 北川英夫と共著) : 第7回複合材料シンポジウム報文集，日本科学技術連盟, 175, 1974. 10.

異材結合界面を横ぎる疲れき裂の成長 (北川英夫・山崎淳一・Y. S. Choy と共著) : 日本機械学会講演論文集 No. 750—1, 9, 1975.

片側き裂を有する試験片におけるチャック部の拘束条件の影響について (北川英夫・久田俊明と共著) : 日本機械学会講演論文集 No. 750—1, 255, 1975.

助 手 森地 重暉 (MORICHI Shigeaki)

発振源移動による地盤内の波動伝播状況に関する実験的研究 (田村重四郎と共著) : 生産研究, 26 巻7号.

発振源移動による地盤内の波動伝播に関する実験的研究 (田村重四郎と共著) : 第29回土木学会年次学術講演会概要集, 1974. 11 月

地下鉄道の構築の振動測定 : (田村重四郎・中村豊と共著) : 第29回土木学会年次学術講演会概要集, 1974. 11.

助 手 加藤 勝行 (KATO Katsuyuki)

軟弱地盤表面の線上における地震動の特性について : (田村重四郎・前田弘と共著) : 第29回土木学会年次学術講演会概要集, 1974. 11.

助 手 関 松太郎 (SEKI Matsutaro)

スタッドのせん断ずれを考慮した合成梁の弾塑性解析 (季利衡他と共著) : 日本建築学会大会学術講演梗概集, 1287—1288, 1974. 10.

電算材一試験材オンラインシステムによる構造物の非線形地震応答解析（高梨晃一他と共著）：日本建築学会論文報告集，1975，3.

電算材一試験材オンラインシステムによる構造物の地震時崩壊の解析（高梨晃一他と共著）：生産研究，26巻，11号，1974，11.

助手 小林 正典（KOBAYASHI Masanori）

Adsorption Studies of Oil Molecules on Borosilicate Glass Surface Using Molecular Beam Techniques (coauthors : K. Shimada, G. Tominaga) : Proc. 6th Internl. Vacuum Congr. 1974, Japan. J. Appl. Phys. Suppl. 2, Pt. 1, 327~330, 1974.

助手 片岡 邦郎（KATAOKA Kunio）

一方向凝固アルミニウム-銅合金の共晶相方位への母相の影響（本間禎一・石川美子と共著）：日本金属学会秋期講演概要集，341，1974.

助手 久保田敏弘（KUBOTA Toshihiro）

格子度調法による等濃度線画像の形成（立田光広，小瀬輝次と共著）：生産研究，26，4，138—144

ボリュームホログラムの結像特性（I）（小瀬輝次と共著）：第35回応用物理学会学術講演会予稿集1，68，1974，10.

色素増感したDCGのホログラフィック・グレーティング（佐々木政子，酒井二郎，本多建一，小瀬輝次と共著）：第35回応用物理学会学術講演会予稿集1，75，1974，10.

助手（特別研究員） 芳野 俊彦（YOSHINO Toshihiko）

傾いたエタロンに対するガウスビーム透過率：第35回応用物理学会学術講演会予稿集I，p.116

研究生 金 鉉奎

LiF 単結晶の低温における降状強度（中村和夫，鈴木敬愛と共著）生産研究 26, 171, 1974, 5.

LiF の低温における変形の活性比体積（中村和夫，鈴木敬愛と共著）生産研究 26, 3131, 1974, 8.

## 第 2 部

教 授 鈴木 弘 (SUZUKI Hiromu)

日本塑性加工学会の新しい発展を望む：塑性加工, **13**, 156, 1974, 1.

研究に先見性を：生産研究, **26**, 1, 1974, 1.

棒の 2 方向矯正における変形機構に関する一考察(荒木甚一郎・山本直道と共著)：塑性と加工, **15**, 156, 1974, 1.

テンションレベラの変形機構に関する一解折法(山本直道・荒木甚一郎と共著)：昭和 49 年度塑性加工春季講演会論文集, 1974, 5.

引張り曲げ矯正における矯正条件が矯正材の残留応力・残留曲率に及ぼす影響について(山本直道・荒木甚一郎と共著)：昭和 49 年度塑性加工春季講演会論文集, 1974, 5.

コールドタンデムミルの制御系の検討手法(小西正躬と共著)：塑性と加工, **15**, 160, 1974, 5.

テンションリールの力学特性の考察 第 2 報(コイル内にスリップのある場合)(阿高松男と共著)：生産研究, **26**, 5, 1974, 5.

広幅断面のロール形成に関する実験的研究 II (台形並びに台形と直線の連なった形状に関する実験(1))：(木内 学・新谷 賢と共著)：塑性と加工, **15**, 1974, 7.

ロールフォーミングに関する実験的研究 XI (V 形断面を有する製品の形状に関する検討)：木内 学・中島 聡・高田研二と共著)：塑性と加工, **15**, 163, 1974, 8.

ロールフォーミングに関する実験的研究 XII (内弧形断面を有する製品の形状に関する検討) (木内 学・高田賢二と共著)：塑性と加工, **15**, 165, 1974, 10.

圧延における質量力の影響について(阿高松男・吉田勝也と共著)：第 25 回塑性加工連合講演会論文集, 1974, 11.

「都市における災害と公害防除」の大型研究の 3 ヶ年を終えるに際して：生産研究, **26**, 11, 1974, 11.

圧着圧延の力学的特性に関する解析的研究(荒木甚一郎・饗場 誠と共著)：塑性と加工, **15**, 166, 1974, 11.

密度変化材の 2 層圧延機構に関する解析的研究(荒木甚一郎・饗場 誠・古堅宗勝と共著)：塑性と加工, **15**, 167, 1974, 12.

圧延工学の学問体系の完成を望む：塑性と加工, **16**, 168, 1975, 1.

広幅断面のロール成形に関する実験的研究 III (台形並びに台形と直線の連なった形状に関する実験(2)) (木内 学・新谷 賢と共著)：塑性と加工, **16**, 169, 1975, 2.



教授 平尾 収 (HIRAO Osamu)

- 人間のかかわる機械系のミーケンス制御：日本機械学会誌, **77**, 671, 29~34, 1974, 10.  
自動車事故解析の問題点：自動車技術会, 自動車事故に関する講演会前刷集, 1~3, 1974, 12.  
自動車用原動機の展望—エネルギー問題, 環境問題によせて：燃料協会誌, **53**, 571, 907~914, 1974, 11.

教授 亙理 厚 (WATARI Atsushi)

- On the Cross Wind Sensitivity of the Automobile (coauthors: S.Tsuchiya and H.Iwase), Proc. of the 15 th Congress of FISITA, No. C-1-15, 1974, 5.  
Application of Sensitivity Analysis to Vehicle Dynamics (Coauthor: S.Iwamoto): Vehicle System Dynamics, **3**, 1, 1-16, Swets & Zeitlinger B.V. Amsterdam, 1974, 6.

教授 水町 長生 (MIZUMACHI Nagao)

- 旋回流れのある円錐ディフューザについて(第1報)(竹内 徹, 遠藤敏彦と共著)：日本機械学会講演論文集, No.740-13, 1974, 11.  
周期的変動流れにおかれた翼の翼面変動圧力分布の研究 (小池典夫・吉識晴夫・江国裕と共著)：日本機械学会講演論文集, No.740-13, 1974, 11.  
翼まわりの非定常境界層について(佐々木祥二・筒井康賢・遠藤敏彦と共著)：日本ガスタービン会議会報, 第1巻, 第4号, 1974.

教授 松永 正久 (MATSUNAGA Masahisa)

- A Review on the Studies of Physical Properties on Damaged Surface Layer in Japan. Proc. International Conf. on Production Engineering, (Part II), 120-125, 1974, 8.  
平面応力下における電着銅単結晶の疲れき裂発生の観察(続報, 萩生田善明と共著), 日本機械学会講演論文集, No.740-10, p.157-160, 1974, 11.  
二硫化モリブデンの摩擦における雰囲気の影響(第2, 3報, 第2報は中川多津夫, 第3報は中川多津夫・米村俊雄と共著)：日本潤滑学会昭和49年度研究発表会予稿, 第2報に春期, p.9-12, 1974, 5, 第3報は秋期, p.93-76, 1974, 10.

教授 大島康次郎 (OSHIMA Yasujiro)

- 水噴流の側壁付着現象—付着噴流の速度分布—(木下修と共著)：計測自動制御学会論文集, **10**, 5, 611~616, 1974, 10.

水噴流の側壁付着現象—曲線側壁をもつ素子—(木下修と共著)：第9回フルイデイクスシンポジウム講演論文集, 37~42, 1974, 10.

Electro-Hydraulic Components; Trends in Control Components (IFAC Monograph), p. 243~280, North-Holland, 1974.

マイクロサーボ：計測と制御, 14, 2, 196~208, 1975, 2.

大気汚染制御の一方法 (長倉輝と共著)：生産研究, 27, 3, 1975, 3.

#### 教授 石原 智男 (ISHIHARA Tomo-o)

アキシアルピストンポンプのしゅう動面における軸受スラスト——第2報 同心円輪軸受に関する数値解析と実験——(上原一男・赤坂利幸と共著)：日本機械学会論文集, 40, 332, 1211~1221, 1974, 4.

アキシアルピストンポンプのしゅう動面における軸受スラスト——第3報 加圧給油口をもつ軸受に関する数値解析と実験——(上原一男・赤坂利幸と共著)：日本機械学会論文集, 40, 332, 1222~1230, 1974, 4.

A New Concept of Power Train for Electric Vehicle (coauthor : M. Hashimoto) : XV FISITA Congress, Paper B-3-8, 1974, 5.

主噴流が脈動する場合の側壁付着形素子の特性(鬼頭幸三・皆藤 登と共著)：計測自動制御学会第9回フルイデイクスシンポジウム講演論文集, 43~47, 1974, 10.

油空圧制御要素における問題点：日本機械学会誌, 77, 162, 54~59, 1974, 11.

圧力制御弁の動特性に関する研究(田中裕久・小嶋英一と共著)：日本機械学会論文集, 40, 340, 3410~3417, 1974, 12.

#### 教授 高橋 幸伯 (TAKAHASHI Yukinori)

大型鉦石運搬船の船首部波浪荷重および鉦石圧に関する実船試験(安藤文隆ほかと共著)：造船研究協会, 研究資料, 210, 1975, 3.

実船搭載用波浪計に関する研究(田宮 真ほかと共著)：造船研究協会, 研究資料, 214, 1975, 3.

操船援助装置の開発事業報告(岩井 聡ほかと共著)：船甲機器開発協会, 1975, 3.

#### 教授 柴田 碧 (SHIBATA Heki)

海外の地震による被害：大震火災時における危険物施設等の延焼性状に関する調査研究報告書(東京消防庁), 31, 1974, 3.

大型地震シミュレータの基本設計(分担執筆)：日本産業機械工業会, 1974, 3.

自己回帰形モデルによる非定常過程の解析, Mo とパワースペクトルの決定：不規則データの自動計算処理に関する研究成果報告書(機械学会), 23, 1974, 3.

地震波形の非定常性について(利光 聡・持尾隆士と共著)：機械学会講演論文集, No.

740—3, 77, 1974. 4.

液体貯槽の耐震設計法に対する一提案(曾我部 潔・岡田 旻と共著):機械学会講演論文集, No. 740—3, 109, 1974. 4.

On the Reliability of Anti-earthquake Design of Structure Depending on Fluctuation of their Responses (清水信行・山室 誠と共著):Proc. of Japan-US Seminar on Reliability in Structural Eng'g, 10—1, 1974. 5.

集中質量の付加された軸対称殻体の地震時高次振動応答の研究(梶村元彦・白木万博と共著):機械学会講演論文集, 関西—232, 92, 1974. 6.

On Estimated Modes of Failure of Nuclear Power Plants by Potential Earthquakes (秋野金次・加藤宗明と共著):Nuclear Design and Science, 28 2, 257, 1974. 9.

化学プラントモデルによる地震と応答の観測——上下動・長周期波(重田達也・曾我部 潔と共著):災害科学シンポジウム講演論文集, 10, 104, 1974. 10.

コンビナート保安, 防災技術指針(耐震設計編, 重要度分類編分担):高圧ガス保安協会, 1974. 10.

配管耐震設計に際しての弾塑性応答(第1報)(重田達也・喜山宣志明・大槻 茂と共著):機械学会講演論文集, 740—12, 39, 1974. 11.

非定常不規則入力による多質点系の地震応答解析(持尾隆士と共著):機械学会講演論文集, 740—12, 31, 1974. 11.

配管系のダンパによる吸振設計法に関する一提案(佐藤正隆と共著):機械学会講演論文集, 740—12, 43, 1974. 11.

## 教授 川井 忠彦 (KAWAI Tadahiko)

有限要素法の学び方:日本材料学会講習会資料, 1974. 5.

梁理論の精密化に関する二, 三の試み(その5)—梁の剪断変形理論(続)—(藤谷義信と共著):生産研究, 26, 6, 202~216, 1974. 6.

Reevaluation of Rayleigh-Ritz's Method in Structural Mechanics—Some Improvement of Conventional Rayleigh-Ritz Procedure and Finite Element Method—:生産研究, 26, 8, 323~325, 1974. 8.

有限要素法と構造物の振動解析:日本船用機械学会誌, 9, 8, 662~674, 1974. 8.

座屈問題解析:コンピュータによる構造工学講座II—6—B, 培風館, 1974. 10.

これからの有限要素法:日本鋼構造協会主催有限要素法に関する講習会テキスト, 101~120, 1974. 11.

構造数値解析の現状と将来:日本機械学会関西支部第23回座談会資料, 1974. 11.

重みつき残差法と変分原理(B.A. Finlayson 著の訳)(所外2名と共訳):培風館, 1974.

12.

175

On The Structural Idealization in Solid Mechanics:

Abstracts of The 16<sup>th</sup> Polish Solid Mechanics Conference, Krynica, 8. 26—9, 3, 1974

教授(併) 田宮 真 (TAMIYA Shin)

A Treatment of Equilibrium of Oil Layer on Water Flow : 造船学会論文集, 136, 71, 1974, 6.

助教授 佐藤 壽芳 (SATO Hisayoshi)

板による工作機械構造の振動特性計算法に関する研究(第2報)(相良 誠・駒崎正洋と共著): 日本機械学会講演論文集, 740-4, 185~188, 1974.4.

微動による工作機械の振動特性の測定(2)(冨 孝と共著): 機械の研究, 26-4, 517~520, 1974-4.

レーザー光を用いた実時間表面あらさ測定装置の試作(三井公之と共著): 日本機械学会, 群制御工作機械システムの自動保守に関する研究成果報告書, 115~128, 1974.6.

工具被削材間の動的相対変位の測定(三井公之と共著): 同上成果報告書, 164~172, 1974.6.

Machine Tool (H. Sato ed.) Bull. JSPE, 8-2, 79~86, 1974-6.

昭和49年機械工学年鑑, 12 切削工作機械の中, 12-2. 研究状況: 131~132, 1974-8.

A Study on Methods Estimating Damping Ratio due to Impulse Response (N. Takenaka 他4名と共著) Proc. ICPE, 163~168, 1974.8.

レーザー光による表面あらさ実時間測定装置の試作について(三井公之と共著): 日本機械学会講演論文集, 740-15, 193~196, 1974.11.

構造物応答の基本的特性, コンビナート保安防災技術指針・資料編, 高圧ガス保安協会, 169~187, 1974.9.

インパルス応答のパワー・スペクトルによる減衰定数推定の一方法(三井公之と共著): 生産研究, 26-11, 426~430, 1974-11.

助教授 棚澤 一郎 (TANASAWA Ichiro)

Oh the Critical Size of Drop Detachment during the Process of Dropwise Condensation (II) (coauthor: J. Ochiai) : 生産研究, 26, 4, 155~157, 1974. 4.

滴状凝縮過程の実験的研究——液滴の離脱径の影響(落合淳一・宇高義郎・塩治震太郎と共著): 第11回日本伝熱シンポジウム講演論文集, 229~232, 1974. 5.

Dropwise Condensation——The Effect of the Critical Size of Drop Detachment (II) (coauthors: J. Ochiai, S. En-ya, Y. Utaka) : 生産研究, 21, 6, 231~233, 1974. 6.

滴状凝縮のメカニズムについてわれわれは何を知らないか：生産研究, 26, 9, 332~339, 1974. 9.

滴状凝縮熱伝達率測定における誤差について (落合淳一・宇高義郎・桑原啓一と共著)：日本機械学会講演論文集, No.740-17, 169~172, 1974. 11.

重みつき残差法と変分原理 (A.B. フィンレイソン著, 川井忠彦ほかと共著)：培風館, 1974. 12.

What We Don't Know about the Mechanism of Dropwise Condensation (coauthor: J.W. Westwater): Heat Transfer 1974—Proc. 5th Int. Heat Transfer Conference, Vol. VII, 186~191, 1975. 2.

伝熱工学資料 (改訂第3版) (一部執筆)：日本機械学会, 1975. 2.

助教授 大野 進一 (OHNO Shinichi)

自動車騒音の実態について (第2報) (亙理 厚他と共著)：生産研究, 26, 11, 39~41, 1974. 11.

公害振動について：生産研究, 26, 11, 42~45, 1974. 11.

助教授 木内 学 (KIUCHI Manabu)

異形管のロール成形に関する実験的研究・第1報—平ロール・45°ロールによる成形(1)— (新谷賢・三浦史明・岩崎利弘と共著)：第25回塑性加工連合講演会講演論文集, 133, 1974-10.

A Study on Plastic Working of Alloys in Their Massy State : (coauthor: S. Fukuoka): The 15th International Machine Tool Design and Research Conference, Paper no. 58, 1974- 9.

開発すむ半溶融加工法—固液共存状態における材料特性を利用した加工法— (福岡新五郎と共著)：金属, 44, 8, 1974-8, 47.

半溶融加工法の開発と可能性：福岡新五郎と共著)：金属材料, 14, 9, 1974-9, 84.

ロールフォーミングに関する実験的研究XI—V形断面を有する製品の形状に関する検討— (鈴木 弘・中島 聡・高田研二と共著)：塑性と加工, 15, 163, 1974-8, 635.

ロールフォーミングに関する実験研究XII—円弧形断面を有する選品の形状に関する検討— (鈴木 弘・高田研二と共著)：塑性と加工, 15, 165, 1974-10, 820.

広幅断面のロール成形に関する実験的研究II—台形並びに台形と直線の連なった形状に関する実験(1)— (鈴木 弘・新谷 賢と共著)：塑性と加工, 15, 162, 1974-7, 547.

広幅断面のロール成形に関する実験的研究III—台形並びに台形と直線の連なった形状に関する実験(2)— (鈴木 弘・新谷 賢と共著)：塑性と加工, 16, 169, 1975-2, 155.

ロールフォーミング加工の問題と最適化：塑性と加工, 15, 165, 1974-10, 811.

助教授 前田 久明 (MAEDA Hisaaki)

Hydrodynamical Forces on a Cross Section of a Stationary Structures : Proceed International Symposium on the Dynamics of Marine Vehicles and Structures in Waves, 87~97, 1974

On the Heaving Motion of a Circular Disk in shallow Water (coauthor : H. Isshiki, J. H. Hwang) : J. Soc. Naval Architects, Japan, 136, 115~128, 1974. 12

波浪外力に関する水槽試験 (元良誠三他と共著) : 日本造船研究協会, 研究資料, 213, 1975. 3

実船搭載用波浪計に関する研究(田宮 真他の共著) : 日本造船研究協会, 研究資料, 214, 1975. 3

助教授 中川 威雄 (NAKAGAWA Takeo)

切削切粉の焼結鍛造(坂井 操と共著) : 昭和49年度精機学会春季大会学術講演会前刷, 173~174, 1974. 4.

せん断加工と製品設計 : 第47回塑性加工シンポジウム, 31~36, 1974. 5.

粉末鍛造の研究 (高野豊晴・天野富男・C. S. Sharma と共著) : 昭和49年度塑性加工春季講演会講演論文集, 21~24, 1974. 5.

Chip Eornging の研究 (長瀬正雄・C. S. Sharma と共著) : 昭和49年度塑性加工春季講演会講演論文集, 25~28, 1974. 5.

浮動心金法による管の精密せん断機 : 昭和49年度塑性加工春季講演会講演論文集, 149~152, 1974. 5.

局部焼入れ軟鋼板の深絞り (町田輝史と共著) : 昭和49年度塑性加工春季講演会講演論文集, 261~266, 1974. 5.

局部加熱を利用した深絞り (町田輝史・塩崎仁士と共著) : 昭和49年度塑性加工春季講演会講演論文集, 271~274, 1974. 5.

せん断縁の伸び変形に及ぼす焼鈍効果 (町田輝史・秋山秀明と共著) : 昭和49年度塑性加工春季講演会講演論文集, 275~278, 1974. 5.

Counter Pressure 法による厚鋼板の精密曲げ (鈴木 清・V. Cupka・大槻定一と共著) : 昭和49年度塑性加工春季講演会論文集, 279~282, 1974. 5.

プラスチック板の精密曲げ (局部加熱逆圧付加V曲げ法) (鈴木 清・町田輝史と共著) : 昭和49年度塑性加工春季講演会論文集, 395~398, 1974. 5.

鉄系焼結体の機械的異方性 (第2報) (天野富男と共著) : 昭和49年度粉体粉末冶金協会春季大会講演概要集, 82~83, 1974. 5.

サイジングによる焼結体の厚さ制御 (天野富男・村上義明と共著) : 昭和49年度粉体粉末冶金協会春季大会講演概要集, 86~87, 1974. 5.

2 軸応力下における焼結体の破壊条件 (天野富男と共著) : 昭和 49 年度春季大会講演概要集、90~91, 1974. 5.

Effect of Forging Conditions on the Surface Pores of Powder Products (coauthors : T. Takano, C. S. Sharma, T. Amano) : 生産研究 26, 6, 45~50, 1974. 6.

粉末鍛造の現状と将来 : プレス技術 12, 7, 26~31, 1974. 7.

ベトナム鋼帯の精密打抜き性 (鈴木 清と共著) : ベトナム鋼帯の加工性と精密機器への適用シンポジウム資料, 101~107, 1974. 7.

Counter Pressure 法によるベトナム鋼帯のV曲げ (V. Cupka・鈴木 清と共著) : ベトナム鋼帯の加工性と精密機器への適用シンポジウム資料, 159~170, 1974. 7.

表面脱炭ベトナム鋼の曲げ加工性 (川瀬尚男・吉田清と共著) : ベトナム鋼帯の加工性と精密機器への適用シンポジウム資料, 171~175, 1974. 7.

Analysis of Counter Pressure Bending by FEM (coauthors : V. Cupka, H. Miyamoto, T. Miyoshi, K. Suzuki) : Proceeding of the Int'l Conference on Production Engineering, Tokyo 1974 (part 1), 257~261, 1974.8.

Production of Crankshafts by Clamp Shearing (coauthor : K. Shiomori) : 15th Int'l M. TDR, Conference, 1974. 9. Forming Limits of Locally Quenched Low Carbon Steel Sheets (coauthor : T. Machida) : 8th Biennial Congress of IDDRG, Gothenburg Sweden, 1974. 9.

On the Mechanical Anisotropy of Ferrous P/M Products (coauthor : T. Amano) : 4th Int'l Conference on Powder Metallurgy, Czechoslovakia, 1974.10.

Al 切削切粉の押出し (C. S. Sharma と共著) : 昭和 49 年度精機学会秋季大会学術講演会前刷, 147~148, 1974. 10.

鉄系切削粉のプリフォーム成形性 (村上義明・C. S. Sharma と共著) : 昭和 49 年度精機学会秋季大会学術講演会前刷, 149~150, 1974. 10.

Chip Forging 材の性質 (C. S. Sharma・長瀬正雄・村上義明と共著) : 昭和 49 年度精機学会秋季大会学術講演会前刷, 151~152, 1974. 10.

Chip Forging 材の表層空孔について (C. S. Sharma・長瀬正雄・三浦真一と共著) : 昭和 49 年度精機学会秋季大会学術講演会前刷, 153~154, 1974. 10.

超塑性板材成形における板厚の一様化と高速化 (町田輝史と共著) : 第 25 回塑性加工連合講演会講演論文集, 257~260, 1974. 11.

板の幅方向曲げ (鈴木清と共著) : 第 25 回塑性加工連合講演会講演論文集, 357~360, 1974. 11.

鋳鉄のせん断加工 (町田輝史・鈴木清・須山曜示と共著) : 第 25 回塑性加工連合講演会講演論文集, 377~380, 1974. 11.

有限要素法による逆圧曲げの解析 (V. Cupka・宮本博・三好俊郎・鈴木清と共著) : 第 25 回塑性加工連合講演会講演論文集, 463~466, 1974. 11.

切削切粉を原料とする粉末鍛造 (C. S. Sharma と共著) : 昭和 49 年度粉体粉末冶金協会秋季大会講演概要集, 24~25, 1974. 11.

鋳鉄切削粉の焼結品 (天野富男・浅野升夫と共著) : 昭和 49 年度粉体粉末冶金協会秋季大会講演概要集, 60~61, 1974. 11.

スウェーピングによる粉末成形(続報)(天野富男・大藪弘美と共著) : 昭和 49 年度粉体粉末冶金協会秋季大会講演概要集, 68~69, 1974. 11.

表面脱炭ペイナイト鋼の曲げ加工性(川瀬尚男・吉田 清と共著) : 日新製鋼技報 31, 15~22, 1974. 11.

ペーナイト鋼帯の曲げ加工(町田輝史と共著) : プレス技術 12, 11, 50~53, 1974. 11.

局部焼入れ軟鋼板の深絞り(町田輝史と共著) : 塑性と加工 16, 169, 148~154, 1975. 2.

助教授 小林 敏雄 (KOBAYASHI Toshio)

自動車に対する風速変動の測定方法の確立と実測値の統計的処理(大橋秀雄・醍醐秀博と共著) : 日本自動車研究所研究報告 10, 1974. 7.

走行試験による横風の測定とその解析(醍醐秀博他と共著) : 自動車技術会秋期大会講演論文集, 1974. 10.

助教授 吉識 晴夫 (YOSHIKI Haruo)

周期的変動流れにおかれた翼の翼面変動圧力分布の研究(小池典夫・水町長生・江国裕と共著) : 日本機械学会講演論文集, 740-1, 121~124, 1974. 11.

助教授 増沢 隆久 (MASUZAWA Takahisa)

放電加工における放電繰返しの制御(第 2 報)(田中勝也・藤野正俊と共著) : 昭和 49 年度精機学会秋季大会前刷, 183~184, 1974, 10

助教授 藤田 隆史 (FUJITA Takafumi)

大震災火災時における住民避難の最適化(第 1 報) : 第 13 回 SICE 学術講演会論文集, 373~374, 1974. 8

大震災火災時における住民避難の最適化(第 2 報) : 第 13 回 SICE 学術講演会論文集, 375~376, 1974. 8

大震災火災時における住民避難の安全性の評価について : 計測自動制御学会東北支部講演論文集, 49~50, 1974. 10

火災と避難のシミュレーション : 第 13 回生研講習会テキスト, 1974. 10

南伊豆における危険物・火災を中心とした地震被害(柴田碧, 原文雄と共著) : 生産研究, 26, 12, 518~522, 1974. 12



大震火災時における住民避難の最適化：生産研究, 27, 3, 130~135, 1975. 3  
Simulation of Spreading Fires Caused by a Strong Earthquake and of Behavior of  
People Taking Refuge from them : JSME Papers—1975 Joint JSME • ASME  
Applied Mechanics Western Conference, 201~208, 1975. 3

講師 阿高 松男 (ATAKA Matsuo)

テンションリールの力学特性の考察 (第2報 コイル内にスリップのある場合) (鈴木弘  
と共著) : 生産研究 26, 5, 1975. 5.

冷間タンデム圧延の総合特性 : 圧延理論部会 20 周年シンポジウム講演論文集 (日本鉄鋼  
協会), 1974. 6.

熱間タンデム圧延のルーバ ASR 系について (タンデム圧延の総合特性の解析 第8  
報) : 塑性と加工, 15, 163, 1974. 8.

圧延における質量力の影響について (鈴木弘・吉田勝也と共著) : 第25回塑性加工連合  
講演会論文集, 1974. 11.

助手 高橋 伸晃 (TAKAHASHI Nobuaki)

自動車騒音の実態について—第2報 (亙理厚, 大野進一, 立石泰三, 西山正一, 岩元貞  
雄と共著) : 生産研究 26, 11, 39, 1974, 11

応答典線を用いた機械構造物の各次振動特性の分離法—第3報 掃引速度の影響 : 生産  
研究, 27, 2, 48, 1975, 2

助手 藤谷 義信 (FUJITANI Yoshinobu)

梁理論の精密化に関する二・三の試み (その5) —梁の剪断変形理論 (続) — (川井忠  
彦と共著) : 生産研究, 26, 6, 202~216, 1974. 6.

はり理論の精密化に関する研究 (その2, はりのせん断変形解析・続) (所外2名と共  
著) : 日本建築学会大会学術講演梗概集, 711~712, 1974, 10.

はり理論の精密化に関する研究 (その3, はりのねじり解析) (所外1名と共著) : 日本  
建築学会大会学術講演梗概集, 713~714, 1974, 10.

せん断変形を考慮したはり解析に関する一・二の試み (所外2名と共著) : 第24回応用  
力学連合講演会論文抄録集, 181~182, 1974. 12

助手 (特別研究員) 福岡新五郎 (FUKUOKA Shingoro)

固液共存状態における金属の変形抵抗 第2報 (新井博男と共著) 第25回塑性加工連合  
講演会論文集, 1974, 11.

A Study on Plastic Working of Alloys in Their Mashy State (coauthor : M.  
Kiuchi) : 15th Int'l M. T. D. R. conference, Birmingham, 1974. 9.

助 手 天野 富男 (AMANO Tomio)

- 粉末鍛造の研究 (中川威雄・高野豊晴・C. S. Sharma と共著) : 昭和49年度塑性加工春季講演会講演論文集, 21~24, 1974. 5.
- 鉄系焼結体の機械的異方性 (第2報) (中川威雄と共著) : 昭和49年度粉体粉末冶金協会春季大会講演概要集, 82~83, 1974. 5.
- サイジングによる焼結体の厚さと制御 (中川威雄・村上義明と共著) : 昭和49年度粉体粉末冶金協会春季大会講演概要集, 86~87, 1974. 5.
- 2軸応力下における焼結体の破壊条件 (中川威雄と共著) : 昭和49年度春季大会講演概要集, 90~91, 1974. 5.
- Effect of Forging Conditions on the Surface Pores of Powder Forged Products (coauthors : T. Nakagawa, T. Takano, C. S. Sharma) : 生産研究 26, 6, 45~50, 1974. 6.
- On the Mechanical Anisotropy of Ferrous P/M Products (coauthor : T. Nakagawa) : 4th Int'l Conference on Powder Metallurgy, Czechoslovakia, 1974. 10.
- 鋳鉄切削粉の焼結品 (中川威雄・浅野升夫と共著) : 昭和49年度粉体粉末冶金協会秋季大会講演概要集, 60~61, 1974. 11.
- スウェーピングによる粉末成形 (続報) (中川威雄・大藪弘美と共著) : 昭和49年度粉体粉末冶金協会秋季大会講演概要集, 68~69, 1974. 11.

助 手 小池 典夫 (KOIKE Norio)

- 周期的変動流れにおかれた翼の翼面変動圧力分布の研究 (吉識晴夫・水町長生・江国裕と共著) : 日本機械学会講演論文集, 740-13, 121~124, 1974. 11.

### 第 3 部

教 授 齋藤 成文 (SAITO Shigebumi)

- 二重反射ホログラフィー・ホログラムの情報量削減(浜崎 二・永田洋一) と共著) : 電子通信学会論文誌(C)56-C, 1973, 12, P. 637
- オプトエレクトロニクスの将来 : エレクトロニクスダイジェスト, 1974, 4, 1
- 同調可能色素レーザー電磁回路アナライザ(藤井陽一・滝木英之・大林周逸と共著) : 電子通信学会昭和49年度全国大会予稿, 1974, 7.
- オプティカルファイバ方向性結合器(浜崎 二・桑原秀夫と共著) : 電子通信学会昭和49

年度全国大会予稿, 1974, 7.

スピン衛星の最適姿勢制御と線形計画法による解(二宮敬虔・川戸信明と共著): 電子通信学会昭和49年度全国大会予稿, 1974, 7.

オプティカルファイバ方向性結合器の研究(浜崎 二・桑原秀夫と共著): 電子通信学会光量子エレクトロニクス研究会資料, 1974, 8.

科学衛星光学トラッキング装置 I(古在由秀・富田弘一郎・長谷部 望と共著): 宇宙航空研究報告, 10, 3(A) 1974, 7. 400

科学衛星光学トラッキング装置 II(古在由秀・富田弘一郎・長谷部 望・高須芳雄と共著): 宇宙航空研究所報告, 10, 3(A), 1974, 7. P. 406~

パワーオプトロニクスへの期待: O H M 創刊60周年記念特大号, 61, 11, 1974, 11. P. 89

宇宙科学と宇宙利用, I, 総論(斎藤成文): 電気学会雑誌, 94, 11, 1974, 11. 953~  
Power Transfer of a Parallel Optical Fiber Directional Coupler (Coauthors: J. Hamasaki, H. Kuwahara): IEEE Transactions on Micro-wave Theory and Techniques MTT-23, 1, 178~ 1975, 1.

A Semi-Transparent Mirror-Type Directional Coupler for Optical Fiber Applications (Coauthors: J. Hamasaki, H. Kuwahara): IEEE Transactions on Microwave Theory and Techniques MTT-23, 1, 179~ 1975, 1.

M-4 S 搭載伝送機器(野村民也・他と共著): 東大宇宙航空研究所報告: 11, 1(B), 1975, 3, p.139~

新しい画像: 画像電子学会誌 3, 3, 1975

教授 渡辺 勝 (WATANABE Masaru)

To Save Memory Field 1: Decuscope, 13, No. 3, 1974

教授 尾上 守夫 (ONOE Morio)

Computer Processing of Ultrasonic Images (ed: G. W. Stroke, W. E. Koke, Y. Kikuchi and J. Tsujiuchi): Ultrasonic Imaging and Holography Medical, Sonar and Optical Applications, 455-502, Plenum Press, N. Y. 1974.

Acoustic Emission Research in Japan for Flaw Detection in Weld (ed: T. Kanazawa, S. Kobayashi): Significance of Defects in Welded Structures, 22-47, 東大出版会, 1974.

Simplified Equivalent-circuit For a Piezoelectric Resonator with High Electromechanical Coupling (coauthor: F. Araki): Proc. IEE 62, 10, 1392~1393, 1974, 10.

A Method For Computing Large-Scale Two-dimensional Transform without Transposing Data Matrix: Proc. IEEE 63, 1, 196~197, 1975. 1

- Computer Analysis of Traffic Flow Observed by Subtractive Television (coauthors: N. Hamano, K. Ohba): Computer Graphics and Image Processing, 2, 377-392, 1973.
- Chromosome Analysis by Minicomputer (coauthor: M. Takagi, K. Yukimatsu): Computer Graphics and Image Processing, 2, 402~416, 1973.
- Multichannel AE Source Location System and Its Application to Fatigue Test of Model Reactor Vessel (coauthors: K. Yamaguchi, H. Ichikawa, Y. Shimada, Y. Shimoma): Proc. 2nd Acoustic Emission Symposium Session2, 82~101, 1974. 9.
- Acoustic Emission During Fatigue of Aluminum Alloy (coauthors: K. Iida, T. Takahashi, H. Yamada, S. Ri): Proc. 2nd Acoustic Emission Symposium, Session, 6, 15~30, 1974. 9.
- An Experiment of Two-dimensional Monolithic Crystal Filters (coauthor: L. Spassov): Comptes rendus de l'Academie bulgare des sciences, 27, 4, 465~468, 1974.
- 高結合圧電振動子の簡易等価回路(荒木文男と共著): 日本音響学会誌, 30, 9, 492~497, 1974. 9.
- 原子炉模形圧力容器の内圧繰返し疲労試験におけるAE標定につ察て(山口楠雄・市川初男・嶋田淑男・下間芳樹と共著): 非破壊検査, 23, 112~113, 1974. 3., および昭和49年年電気学会全国大会, 1137, 1974. 3.
- 第2回 アコースティック・エミッション シンポジウム報告: 非破壊検査, 2, 12, 663~664, 1974.
- ミニコンを用いた画像の順次処理(岩下正雄と共著): 電子通信学会画像工学研究会資料, IE74-36, 1974. 7.
- System 64-(64×64)画像処理用対話型システム(柴田義文と共著): 電子通信学会画像工学研究会資料, IE74-60, 1974. 11.
- 多チャンネル・アコースティック・エミッション標定システム 第2報(山口楠雄・市川初男・嶋田淑男・下間芳樹と共著): 昭和49年年電気学会全国大会, 1136, 1974. 3.
- ミニコンを用いた画像の順次処理(岩下正雄と共著): 昭和49年年電気学会全国大会, 1148, 1974. 3.
- 紙テープを利用した文字および画像の表示(柴田義文と共著): 昭和49年年電気学会全国大会, 1149, 1974. 3.
- ITVを用いたオンライン顕微鏡システム(高木幹雄・高橋利定と共著): 昭和49年年電気学会全国大会, 1150, 1974. 3.
- ミニコンを用いた気象衛星画像の雲移動の追跡(岩下正雄と共著): 昭和49年年画像電子学会全国大会, 11, 1974. 5.

- 大規模 2 次元 FFT の高速演算法：テレビジョン学会全国大会，11-1，1974. 6.
- 残差検定法による気象衛星画像の雲追跡（前田紀彦と共著）：テレビジョン学会全国大会，11-7，1974，6.
- 高速疲労われ試験における Acoustic Emission の観測（山田博章と共著）：昭和 49 年電子通信学会全国大会，2381，1974. 7.
- ITV 信号のデジタル処理による交通流計測（大場一彦と共著）：昭和 49 年度電子通信学会全国大会，1301，1974. 7.
- ペベル加工した板の厚みねじれ振動（山岸一郎と共著）：昭和 49 年度電信学会全国大会，85，1974. 7.
- コンベックス型輪郭すべり振動子の解析（荒木文男と共著）：日本音響学会講演論文集，2-5-3，1974. 6.
- System 64-(64×64)画像処理用対話型システム（柴田義文と共著）：昭和 49 年度電気関係学会関西支部連合大会，S 6-9，1974. 11.
- 白血球のパターン認識（高木幹雄・高橋利定と共著）：第 13 回IME学会大会予稿集，1-C-63，1974. 4.
- 交通流計測への画像処理の応用：映像情報，8-11，1974. 6.
- Acoustic Emission とその応用：第 7 回応力・ひずみ測定シンポジウム特別講演，1975. 2.
- A E 計測による空気圧試験導入の可能性：日本高圧力技術協会主催パネルディスカッション：高圧設備の安全性について，基調講演，1975. 2. 25.
- Acoustic Emission の計測——最近における音響計測法：日本音響学会第 10 回技術講演会テキスト，33～50，1974. 11.
- ブルガリアを訪ねて：東大新聞，1974. 4.
- 長波長ホログラムの計算機再生（石川俊行と共著）：第 4 回画像工学コンファレンス，3-1，1973. 11. 21.

教授 安達 芳夫 (ADACHI Yoshio)

- Velocity/ Field Characteristic of  $Ga_xIn_{1-x}Sb$  Calculated by the Monte Carlo Method (coauthors : K. Sakai, T. Ikoma and H. Yanai) : Electronics Letters, 10, 19, 402-403, 1974. 9.
- キャパシタンス法による GaAs 中の電子及び正孔トラップ準位の測定（堺和夫，生駒俊明と共著）：第 21 回応用物理学関係連合講演会，1 a-K-4，1974. 4.
- MNOS メモリーデバイスのトラップ準位，書きこみ特性及び保持特性（勝部昭明，生駒俊明と共著）：第 21 回応用物理学連合講演会，1 P-N-1，1974. 4.
- モンテカルロ法による  $Ga_x In_{1-x} Sb$  のガン効果特性の計算（堺和夫，生駒俊明と共著）：昭和 49 年度電子通信学会全国大会，443，1974. 7.

- ショットキ・ゲート電界効果トランジスタの特性に及ぼす基板の影響（長島 厚，生駒俊明と共著）：昭和49年度電子通信学会全国大会，470，1974. 7.
- $Ga_x In_{1-x} Sb$  のガン効果特性におけるイオン化不純物及び温度の効果（堺和夫，生駒俊明と共著）：第35回応用物理学会学術講演会，8p-S-7，1974. 10.
- Ga(ASP) 中の深い不純物単位の測定（宮川尚憲，堺和夫，生駒俊明と共著）：第35回応用物理学会学術講演会，9a-S-11，1974. 10.
- 熱刺激電流による MNOS メモリーデバイスの特性解析（勝部昭明，生駒俊明と共著）：電子通信学会半導体・トランジスタ研究会，SSD74-18，1974. 7.
- $Ga_x In_{1-x} Sb$  における高電界特性——モンテカルロ法による計算（堺和夫，生駒俊明，柳井久義と共著）：電子通信学会半導体・トランジスタ研究会，SSD74-78，1975. 2.
- 極低温における MOS 電界効果トランジスタの特性（宮川尚憲，生駒俊明と共著）：生産研究，27，2，91~97，1975. 2.

教授 浜崎 襄二 (HAMASAKI Joji)

- 超伝導の電子機器への応用（榊裕之と共著）：電気学会雑誌 94，76~81，1974. 5.
- ロケットのノズルに装着した0.9 GHz 帯アンテナ（市川満，谷岡憲隆，松井正安と共著）：昭和49年度電子通信学会全国大会，S 6-2，1974. 7.
- 立体像の実時間伝送に用いる照明光空間変調波の位相安定化（桶口博，岡田三男と共著）：昭和49年度電子通信学会全国大会，S 19-1，1974. 7.
- 大気中における電波の屈折補正の簡略計算法（松井正安と共著）：昭和49年度電子通信学会全国大会。711，1974. 7.
- レンズ様媒体の収差のホログラフィによる補正（前田惟裕と共著）：昭和49年度電子通信学会全国大会，1182，1974. 7.
- オプティカルファイバー方向性結合器（桑原秀夫，斎藤成文と共著），昭和49年度電子通信学会全国大会，1169，1974. 7.
- 金属クラッドを一部に用いた光導波路（野須潔と共著），昭和49年度電子通信学会全国大会，1138，1974. 7. オプティカルファイバー方向性結合器の研究（桑原秀夫，斎藤成文と共著），電子通信学会研究専門委員会，O Q E 74-32，1974. 8.
- 三次元テレビジョン，昭和49年度電気四学会連合大会，105，1974，1974. 10.
- 短波長の波動の取扱い（前田惟裕と共著），電気学会電磁界理論研究会，E M T-74-30，1974. 10.
- 短波長の波動の取扱い—II（前田惟裕と共著），電子通信学会マイクロ波研究会，MW-75-89，1974. 11.
- 部分的に金属クラディングを用いた光 I C 用線路（野須潔と共著），電子通信学会マイクロ波研究会，MW 74-72，1974. 10.
- 屈折率ゆらぎを有するレンズ様媒体の縮退モード間のモード変換（前田惟裕と共著）：電

子通信学会光量子エレクトロニクス研究会, O Q E 74—74, 1975. 1.

A Partially Metal-Clad-Dielectric-Slab Waveguide for Integrated Optics (coauthor : K. Nosu) : IEEE Journal of Quantum Electronics, **QE-10**, 10, 822—825, 1974. 10.

光集積回路 : 電気工学年報, 6. 4. 2. 昭和 48・49 年度版

教授 河村 達雄 (KAWAMURA Tatsuo)

Breakdown of Air Gaps Irradiated by a Giant Pulse Laser (coauthors : J. Hojyo, K. Morita, Y. Maruyama) : Proceedings of the U. S.- Japan Seminar on Gas Breakdown and its Fundamental Processes 163—172, Japan Society for the Promotion of Science, 1973.

統計的手法による絶縁設計 (石井勝と共著) : 放電研究 **55**, 69—78, 1974. 3.

ギャップ放電におけるレーザ光照射の効果 (丸山義雄と共著) : 大気電気研究 **10**, 163—166, 1974. 6.

オプトエレクトロニクスによる電力の計測と制御 (藤井陽一, 原田達哉, 岸敬二と共著) : 電気学会東京支部講演会予稿, 1974. 7.

Statistical Approach to the Insulation Co-ordination of Substations against Lightning Overvoltage (coauthors : T. Kouno, S. Kojima, F. Numajiri, H. Mitani, K. Harasawa, H. Ishihara) : Group 33 (Overvoltages and Insulation Co-ordination) of the 1974 Session of CIGRE, 33—06, 1974. 8.

Performance of Surge Diverters (Lightning Arresters) in Japan : CIGRE Study Committee 33, Overvoltages and Insulation Co-ordination, Working Group 01 : Lightning 14/1, 1974. 8.

オプトエレクトロニクスの電力機器への応用 : 電気学会雑誌 **94**, 9, 805—808, 1974. 9.

オプトエレクトロニクス式電気量測定手法による汚損がい子連の分担電圧の測定 (その 2) (青島好英, 原田達哉, 相原良典, 岸敬二と共著) : 電力中央研究所技術第一研究所報告 74037, 1974. 10.

フラッシュオーバ統計 (石井勝と共著) : 昭和 49 年電気四学会連合大会講演論文集 **38**, 1974. 10.

フラッシュオーバ統計と絶縁設計 (石井勝と共著) : 電気学会放電研究会資料 E D—74—41, 1974. 10. がいし汚損面の吸湿現象に影響を及ぼす要因の解析 (伊坂勝生と共著) : 電気学会論文誌 **94—B**, 11, 575—582, 1974. 11.

雷に対する電力供給システムの絶縁信頼度 (北条準一, 石井勝と共著) : 生産研究 **26**, 11, 455—459, 1974. 11.

放電制御への光の応用, 特集パワーオプトロニクスの現状と将来: OHM 61, 11, 111  
—115, 1974. 11.

放射冷却によるがいし表面温度低下の解析 (石井勝と共著): 昭和49年度電気関係学会  
関西支部連合大会講演論文集 G 4—1, 1974. 11.

オプトエレクトロニクス技術による直流汚損がいし連の分担電圧の測定 (青島好英, 原  
田達哉, 岸敬二と共著): 電気学会電力技術研究会資料 E T—74—29, 1974. 11.

変電技術——変電技術に関する座談会: 電気協同研究 30, 4, 1974. 12.

雷: 電気工学年報, 3・4, 電気学会, 1975. 1.

災害・公害に対する電力系統の信頼度向上 (原島文雄と共著): 生産研究 27, 3, 148  
—151 1975. 3.

光の計測への応用 2) 電気計測——オプトエレクトロニクス, 電気技術者のための最近  
の計測技術, 電気三学会関西支部専門講習会予稿, 1975. 3.

#### 教授 山口 楠雄 (YAMAGUCHI KUSUO)

アコースティック・エミッションの計測技術: 生産研究, 26, 4, 131—137, 1974. 4.

計算制御のための流量予測シミュレーション (嶋田淑男と共著): 生産研究, 26, 4, 148  
—151, 1974. 4.

示装プロジェクトにおけるマネジメント手法及びその適用の研究 (芥川伸と共著): 生産  
研究, 26, 7, 254—258, 1974. 7.

Multichannel Acoustic Emission Source Location System and its Application to  
Fatigue Test of Model Reactor Vessel (coauthors, M. Onoe, H. Ichikawa, T.  
Shimada, Y. Shimozuma) The Second Acoustic Emission Symposium, Session 2,  
82—102, 1974. 9.

精糖 (シンポジウム44・工場の総括制御): 昭和49年電気四学会連合大会講演論文集,  
7, 37—40, 1974. 10.

アコースティック・エミッションの基礎と応用—計測・解析技術—: 日本高圧力技術協  
会講習会テキスト, 25—55, 1974. 10.)

多チャンネルAE標定装置の開発: 生産研究, 27, 3, 26—28, 1975. 3.

AE標定システムの定量的評価の方法について (下間芳樹と共著): 昭和50年電子通信  
学会全国大会予稿集, 1889, 1975. 3.

#### 助教授 安田 靖彦 (YASUDA Yasuhiko)

最適ドットパターンを用いた中間調のある画像の表示記録 (長谷川晴朗と共著): 昭和  
49年度電子通信学会全国大会 NO. 1379

非同期サンプル受信方式に対する最適波形の検討 (田坂修二と共著): 昭和49年度電子



- 通信学会全国大会 NO. 2310
- 情報収集用非同期多重通信の検討 (田坂修二と共著) : 昭和 49 年度電子通信学会全国大会 NO. 2311
- 非同期標準化受信方式に対する最適波形(田坂修二と共著) : 電子通信学会通信方式研究会 CS-74-70 1974. 8. 28
- ファクシミリデジタル伝送の動向 : 画像電子学会第 16 回研究会講演予稿 NO. 1
- 適応形線形変換符号化を用いたファックス高能率帯域圧縮方式 (新井康平, 加藤真一と共著) : 電子通信学会通信方式研究会資料 CS 74-117 1974. 11.
- 画像のデジタル伝送 : 第 5 回画像工学コンファレンス論文集 NO. 2-2.
- ファクシミリ帯域圧縮各種符号化方式の圧縮率評価 (新井康平, 加藤真一と共著) : 昭和 50 年度電子通信学会全国大会 S 12-3.
- 適応形変換符号化によるファクシミリ高能率帯域圧縮方式 (新井康平, 加藤真一と共著) : 昭和 50 年度電子通信学会全国大会 S 12-4.
- 待ち行列による伝送容量可変データ通信の方式 (中村元行と共著) : 昭和 50 年度電子通信学会全国大会 NO. 1451.
- 情報収集用非同期多重通信方式におけるパケットの損失確率 (田坂修二共著) : 昭和50年度電子通信学会全国大会 NO. 1821.
- 情報収集用非同期多重通信方式における誤り制御方式 (田坂修二, 他所外一名と共著) : 昭和 50 年度電子通信学会全国大会 NO. 1822.
- ストロー法による漢字データ圧縮の改良 (新井康平, 加藤真一共著) : 昭和 50 年度電子通信学会全国大会 NO. 971.

助教授 高羽 禎雄 (TAKABA Sadao)

- 情報の優先度に基づいてチャネル選択を行う自動車群と地上との間の通信方式 (今村誠と共著) : 昭和 49 年度電子通信学会全国大会講演論文集, 2350, 1974. 7.
- TRN \*SIM I による野外実験システムのシミュレーション (谷口忠勝・兼子隆と共著) : 昭和 49 年度電子通信学会全国大会講演論文集, 2395, 1974. 7.
- 画像情報の抽出にもとづく交通流の計測システム(谷口忠勝・田付文之助と共著) : 昭和 49 年度電子通信学会全国大会講演論文集, 2396, 1974. 7.
- 交通制御方策検討のための自動車交通流のシミュレーション (浜田喬・田代文之助・谷口忠勝・兼子隆他 2 名と共著) : 生産研究, 26, 11, 460~466, 1974. 11.
- パルス回路 : 電気工学年報昭和 48・49 年度版, 233~235, 1975. 1.
- 街路網を対象とした交通流シミュレータ TRN \*SIM II (浜田喬・谷口忠勝他 2 名と共著) : シミュレーション技術研究会資料, III-2, 1975. 3.

助教授 藤井 陽一 (FUJII Yoichi)

同調可能色素レーザーを用いたレーザー電磁回路アナライザ (斎藤成文・滝本英之・大林周逸と共著) : S. 49 電子通信学会全国大会, 1118

多重横モード発振半導体レーザーの高速時間応答特性 : S. 49 電子通信学会全国大会, 1204

An Optical Heterodyne Radar System for Position and Velocity Detection (滝本英之と共著) : 1974 Laser Radar Conf. Sept. 3 II-7

PbM<sub>6</sub>O<sub>4</sub> 結晶を用いた音響光学フィルタ (林秀樹と共著) : 応物学会, S. 49-10 9aF6  
光ヘテロダイン検波を用いた結像特性の解析 (滝本英之と共著) : 電子通信学会 光量子エレクトロニクス研究会資料, OQE. 74-20, 1974. 6.

Optical Frequency Translator of the Minimum Residual Carrier (滝本英之と共著) : VIII IQEC. June 10-13, 1974. X-15

発光ダイオードによる電力用光変成器の実験的研究 (横山幸嗣・斎藤質文・三浦 智・吉田和芳・大野豊と共著) : S. 50 電気学会全大会, 1300

LiNbO<sub>3</sub> 結晶を用いた音響光学フィルター (林秀樹と共著) : S. 50 電気学会全国大会, 504

可変周波数炭酸ガスレーザーを用いた光ヘテロダイン検波器の特性 (斎藤成文・四方進と共著) : S. 50 電気学会全国大会, 502

大電力用電子ビーム管の雑音と電極構造の効果 (大林周逸と共著) : S. 50 電気学会全国大会, 473

レンズ・ビームガイドによる画像伝送 (大林周逸・清水賢治と共著) : S. 50 電気学会全国大会, 494

同調可能色素レーザーによる吸光分析とその測定誤差 (滝本英之・正村達郎と共著) : S. 50 電気学会全国大会

球面波光ヘテロダイン法による速度分布の測定 (滝本英之と共著) : S. 50 電気学会全国大会, 497

光ファイバ方向性結合器によるループ状光ファイバとの結合 (斎藤成文・横山幸嗣と共著) : S. 50 電気学会全国大会, 501

光ヘテロダインとショット雑音の量子論 S. 50. 電子通信学会全国大会

光ヘテロダイン検波を用いた画像検出 (実験) (滝本英之と共著) : S. 50 電子通信学会全国大会, 857

光ヘテロダインの量子論的取扱い : 電子通信学会 光量子エレクトロニクス研究会資料, OQE. 74-63. 1974-12

PbM<sub>6</sub>O<sub>4</sub> 結晶を用いた音響光学フィルター (II) (林秀樹と共著) : 応物学会 75春  
190

光ヘテロダイン・レーザ・レーダ(II)(滝本英之と共著)：S. 49 文部省総合研究「レーザ・レーダの基礎および応用」第2回研究会資料，1975—2—6  
光ヘテロダインによるレーザ顕微鏡(滝本英之と共著)：電子通信学会 光子エレクトロニクス研究会資料 OQE—74—84 (1975—03)  
レーザ変流器の動向：OHM, 1974. 11.

教授 高木 幹雄 (TAKAGI Mikio)

Chromosome Analysis by Minicomputer (coauthors : M. Onoe, K. Yukimatsu) : Computer Graphics and Image Processing, 2, No. 3/4, 402~416, 1973. 12.  
医療システム化調査報告書(第III報)(医療システムにおける技術・需要予測調査) 8, 画像入出力装置, 10. 漢字入出力装置(中田和男と共著), 48. 漢字情報処理, 49. 画像情報の蓄積処理, 日本電子工業振興協会, 1974. 3.  
白血球のパターン認識(尾上守夫, 高橋利定と共著)：第13回日本ME学会大会予稿集, 1—C—63, 1974. 4.  
資源衛星のコンピュータ画像処理：特集画像とコンピュータ, 2—7, テレビジョン学会雑誌, 28, 4, 279~284. 1974. 4.  
信号変換の2ライン符号化方式への拡張(津田俊隆と共著)：昭和49年度画像電子学会第2回全国大会予稿集, 19, 1974. 5.  
アダプティブ・ランレングス符号の一形式(津田俊隆と共著)：1974年度画像電子学会第2回全国大会予稿集, 20, 1974, 5.  
2次元予測における予測点数と予測誤りの検討(津田俊隆, 農沢雄治と共著)：1974年テレビジョン学会全国大会予稿集, 11—2, 1974. 6.  
X線透過写真を用いた溶接欠陥の画像処理(横井行雄共著)：1974年テレビジョン学会全国大会予稿集, 11—3, 1974. 6.  
濃淡画像簡易表示方式(富田強, 横井行雄と共著)：1974年テレビジョン学会全国大会予稿集, 11—5, 1974. 6.  
信号変換の2ライン符号化方式への拡張(津田俊隆と共著)：1974年テレビジョン学会全国大会予稿集, 11—6, 1974. 6.  
大規模実数値行列に対する2次元フーリエ変換のデータ構造(横井行雄と共著)：電子通信学会電子計算機研究会資料, EC 74—13, 1974. 6.  
2ライン符号化信号変換を適用したファクシミリ帯域圧縮(津田俊隆と共著)：電子通信学会通信方式研究会資料, CS 74—55 及び画像工学研究会資料, IE 74—31, 1974. 6.  
最近のディスプレイ装置：第8章ディスプレイの応用, 8-1 概説, 217~229 テレビジョン学会編, 日本放送出版協会, 1974. 6.

- 画像情報処理用簡易表示装置（富田強と共著）：1974年度電子通信学会全国大会講演論文集，1300，1974. 7.
- 大規模実数値行列に対する二次元フーリエ変換のデータ構造——空間フィルタ処理の高能率化——（横井行雄と共著）：1974年度電子通信学会全国大会講演論文集，1299，1974. 7.
- 信号変換パターンの拡張による画質の向上（津田俊隆と共著）：1974年度電子通信学会全国大会講演論文集，1334，1974. 7.
- 濃淡画像の簡易出力方式（富田強，横井行雄と共著）：電子通信学会画像工学研究会資料，I E 74-41，テレビジョン学会画像表示研究会資料，8-6，1974. 7.
- Status of Planning of Future Earth Resources Survey Satellite (coauthors : E. Kilpela, L. Laidet, H. Sax, S. Shapiro) : 25th International Aeronautical Congress 74-142, Application Satellite II, Satellite applications working group reports 1974. 10.
- リモートセンシングにおけるデジタル画像処理：日米合同セミナーリモート・センシングの原理と応用，1974. 10.
- ミニコンのための二次元フーリエ変換の算法（横井行雄と共著）：1974年度電気関係学会関西支部連合大会予稿集，S 6-6及び電子通信学会パターン認識と学習研究会資料，PRL 74-31，1974. 11.
- 白血球の自動分類に関する基礎的研究（高橋利定と共著）：1974年度電気関係学会関西支部連合大会予稿集，S 6-15及び電子通信学会画像工学研究会資料，I E 74-66，1974. 11.
- デジタル画像処理：第5回画像工学コンファレンス論文集，17-20，1974. 11.
- 医用画像伝送（宇都宮敏男，開原成允と共著）：電子通信学会誌，57，11，1364～1370，1974. 11.
- 溶接部X線像の画像処理（横井行雄と共著）：テレビジョン学会テレビジョン技術応用研究会資料，17-3，1974. 11.
- 画像科学と画像エレクトロニクス（長谷川伸，竹下疆一，和久井孝太郎と共著）：テレビジョン学会雑誌，28，12，1017～1026，1974. 12.
- ファクシミリ伝送用ランレングス符号の高能率化（津田俊隆と共著）：電子通信学会論文誌A，58-A，第2号，113～120，1975. 2.
- リモートセンシング画像のデジタル処理（その1），（ハードウェア）：テレビジョン学会雑誌，29，3，178～183，1975. 3.
- 画像処理技術と設備診断料：計測自動制御学会「設備診断と計測シンポジウム」資料，19-27，1975，3.
- 画像技術年報，研究開発，1，5，画像処理，画像電子学会誌，3，3，124～128，1975，3.

リモートセンシング画像のデジタル処理用ハードウェア：画像電子学会第19回研究会予稿集，74-06-5，1975. 3.

小規模システムによる大規模画像行列の空間周波数フィルタリング(横井行雄と共著)：1975年度電子通信学会全国大会講演論文集，1975. 3.

3ライン信号変換を用いたファクシミリの帯域圧縮方式(津田俊隆と共著)：1975年度電子通信学会全国大会講演論文集，1007，1975. 3.

気象衛星画像簡易入力装置(田村清と共著)：1975年度電子通信学会全国大会講演論文集，1050，1975. 3.

助教授 原島 文雄 (HARASHIMA Fumio)

無整流子電動機における直流リアクトルの影響(小山孝男・江原実と共著)：電気学会制御変換装置研究委員会資料 pcc-74-1，1974， 5

自然制約と日本の将来(単行本)(茅陽一他と共著)世界政党研究会 1974， 5

充電システムの研究(電気自動車の研究開発特集号)工業技術，1974， 5

自動操縦装置について(稲葉博他と共著)：自動車技術，28-5，1974， 5

電気自動車の利用システムおよび充電方式の研究(一部執筆)：自動車技術会，1974， 6

充電システムについて：自動車技術会電気自動車利用システム講演会テキスト，1974， 6

電気自動車と新交通システム(伊藤俊彦氏と共著)：自動車技術会電気自動車利用システム講演会テキスト，1974， 6

カルマン・フィルタを用いた自動車の自動操舵系の最適設計(坪井邦夫，稲葉博，宮田豊雄と共著)：第13回計測自動制御学会学術講演会予稿集，1213，1974， 8

サイリスタ負荷の力率制御に関する研究(稲葉博・小山孝男と共著)：第13回計測自動制御学会学術講演会予稿集，2707，1974， 8

On Operating Characteristics of Induction Motors Fed by Thyristor Inverters：生産技術研究報告，24-1，1974， 10

State Space Analysis of AC Motors Fed by Thyristor Inverters：T. Yanase)：IFAC Symposium on Power Electronics and Electrical Drives (Duesseldorf) 1974. 10

追従制御方式によるサイリスタ負荷の力率改善(稲葉博・小山孝男と共著)：第17回自動制御連合講演会前刷，3088，1974. 11.

直流リアクトルを考慮した無整流子電動機の特性解析(江原実・小山孝男と共著)：電気学会論文誌，94-B，No. 11，1974. 11.

カルマン・フィルタを用いた自動車の自動操舵系の最適設計(坪井邦夫・稲葉博・宮田豊雄と共著)：電気学会自動制御研究会資料，AC-74-32，1974. 12.

電気自動車の研究開発—大形プロジェクトによる研究成果を中心として—(一部執筆)：

日本産業技術振興会編, 1974. 12.

磁気ダイオード (SMD) を用いたトランジスタ式サーボモータの研究 (鈴木英雄と共著): システムと制御, 19—1, 1975. 1.

新交通システムにおけるエネルギーシステムおよび駆動システム: システムと制御, 19—3, 1975. 3.

災害・公害に対する電力系統の信頼度向上 (河村達雄と共著): 生産研究, 27—3, 1975. 3.

助教授 生駒 俊明 (IKOMA Toshiaki)

Temperature Dependence of Hole Saturation Velocity (coauthor: K. Hara): Appl. Phys., 3, 5, 431-432, May 1974.

Characteristics and Applications of a Schottky-Barrier-Gate Gunn-Effect Digital Devices (SBG • GEDD) (coauthors: T. Sugeta, M. Tanimoto and H. Yanai): IEEE Trans. ED, ED-21, 8, 504-515, Aug. 1974.

Velocity/Field Characteristic of  $Ga_xIn_{1-x}Sb$  Calculated by the Monte Carlo Method (coauthors: K. Sakai, Y. Adachi and H. Yanai): Electronics Letters, 10, 19, 402-403, Sept. 1974.

Deep Levels in GaAs by Capacitance Method (coauthor: K. Sakai): Applied Phys., 5, 2, 165-171, Nov, 1974.

New Method to Determine the Photoionization Threshold Energy of a Deep Level from Photocapacitance (coauthor: T. Okumura): Appl. Phys. Letts. 25, 10, 572-574, Nov. 1974.

GaAs プレーナ型デバイスに対するトラップと基板の影響 (長島厚・栗原由紀子と共著): 電子通信学会論文誌, 57—C, 12, 469~470, Dec. 1974

第5回ひ化ガリウムと関連化合物に関する国際会議報告: 電子通信学会誌, 58, 3, 295~296, March, 1975.

Efficiency Degradation and Deep Levels in GaP LED (coauthor: T. Okumura): 4th European Solid-State Device Conference at Nottingham, England, Sept. 17, 1974.

化合物半導体中の深い不純物準位の測定: 第12回半導体専門講習会 (電気学会トランジスタ専門委員委員会・電子通信学会半導体トランジスタ研究専門委員会・応用物理学会・半導体研究振興会共催): Aug.19—22, 1974.

キャパシタンス法による GaAs 中の電子及び正孔トラップ準位の測定 (堺和夫・安達芳夫と共著): 第21回応用物理学会関係連合講演会, 1 a—K—4, Apr., 1974.

キャパシタンス法による GaP LED 中の深い不純物準位の測定 (奥村次徳・堺和夫と共著): 第21回応用物理学会関係連合講演会, 1 a—M—9, Apr., 1974.

MNOS メモリーデバイスのトラップ準位, 書きこみ特性及び保持特性 (勝部昭明・安達芳夫と

- 共著)：第 21 回応用物理学会関係連合講演会， 1 P—N—1， Apr.， 1974.
- GaP， GaAs の表面酸化と MOS ダイオードの特性 (横溝汎と共著)：第 21 回応用物理学会関係連合講演会， 2 a—N—10， Apr. 1974.
- Si 中のホールの飽和速度の温度依存性(原和裕と共著)：第 21 回応用物理学会関係連合講演会， 3 P—K—10， Apr.， 1974.
- Si バリットダイオードの試作 (原和裕・宮崎勝・右高正俊と共著)：昭和 49 年度電子通信学会全国大会， 431， July.， 1974.
- バリットダイオードの発振特性 (原和裕・宮崎勝・右高正俊と共著)：昭和 49 年度電子通信学会全国大会， 432， July.， 1974.
- バリットダイオードの小信号解析 (原和裕・栗原由紀子と共著)：昭和 49 年度電子通信学会全国大会， 433， July.， 1974.
- モンテカルロ法による  $Ga_xIn_{1-x}Sb$  のガン効果特性の計算 (堺和夫・安達芳夫と共著)：昭和 49 年度電子通信学会全国大会， 443， July.， 1974.
- ショットキ・ゲート電界効果トランジスタの特性に及ぼす基板の影響 (長島厚・安達芳夫と共著)：昭和 49 年度電子通信学会全国大会， 470， July， 1974.
- PHCAP スペクトルの掃引速度依存性 (奥村次徳・堺和夫と共著)：昭和 49 年度電子通信学会全国大会， 415， July， 1974.
- $Ga_xIn_{1-x}Sb$  のガン効果特性におけるイオン化不純物及び温度の効果 (堺和夫・安達芳夫と共著)：第 35 回応用物理学会学術講演会， 8 P—S—7， Oct.， 1974.
- Ga (AsP) 中の深い不純物準位の測定 (宮川尚憲・堺和夫・安達芳夫と共著)：第 35 回応用物理学会学術講演会， 9 a—S—11， Oct.， 1974.
- PHCAP 法による Photoionization Threshold Energy の測定：GaAs， GaP 中のトラップ (奥村次徳と共著)：第 35 回応用物理学会学術講演会， 9 a—K—9， Oct.， 1974.
- GaAs のマイクロ波応用 (堺和夫・原和裕と共著)：昭和 49 年度電気四学会連合大会， 4， 4—45～4—48， Oct.， 1974.
- Quasi-static 法による MNOS 素子の V—I 特性 (徳田博邦・安達芳夫・田中一成と共著)：昭和 50 年度電子通信学会全国大会， 261， March， 1975.
- 熱刺激電流による MNOS メモリーデバイスの特性解析 (勝部昭明・安達芳夫と共著)：電子通信学会半導体・トランジスタ研究会， SSD 74—18， July.， 1974.
- フォトキャパシタンス法による GaP 発光ダイオード中の深い不純物準位の測定(奥村次徳・堺和夫と共著)：電子通信学会半導体・トランジスタ研究会， SSD 74—26， Aug.， 1974.
- $Ga_xIn_{1-x}Sb$  における高電界特性——モンテカルロ法による計算 (堺和夫・安達芳夫・柳井久義と共著)：電子通信学会半導体・トランジスタ研究会， SSD 74—78， Feb.， 1975.
- 極低温における MOS 電界効果トランジスタの特性 (宮川尚憲・安達芳夫と共著)：生産研究， 27， 2， 91～97， Feb.， 1975.
- 半導体デバイスの物理(1) (S. M. Sze 著， 柳井久義・小田川嘉一郎と共訳)：コロナ社， 1974.

助教授 浜田 喬 (HAMADA Takashi)

- 自動運行車両の能率のシミュレーションによる評価(藤田一彦・佐藤和雄と共著)：昭和49年電気学会全国大会, No. 1103, 1974. 4.
- 交通流シュミレータ TRN \*SIM II 制御のためのソフトウェア(藤田一彦と共著)：昭和49年電気学会全国大会, No. 1106, 1974. 4.
- 交通制御方策検討のための自動車交通流のシミュレーション(高羽禎雄他5名と共著)：生産研究, 26, 11, 60~66, 1974. 11.

助教授 榎 裕之 (SAKAKI Hiroyuki)

- “超伝導の電子機器への応用”(浜崎裏二と共著)：電気学会雑誌, 94, 5 (1974) 76—81.
- “半導体表面の電子的性質”：応用物理学会, 薄膜・表面物理セミナー(第5回)テキスト, 1974年7月, 4・1~4・40.
- 半導体表面現象—電子的性質を中心として—：応用物理, 43, 9 (1974) 950—951.
- Negative Differential Resistance and Thermal Effect in Silicon MOP Field Effect Transistors (carthor : T. Sugano) J. Japan Soc. Appl. phys. Suppl, 43, 1974.

講師 長谷部 望 (HASEBE Nozomu)

- 円板近傍のダイポールからの放射界(座間と共著)：信学会, アンテナ伝播研資, AP. 74—6~10 (1974—50).
- 円板を用いた結合共振器構造のアンテナ(座間と共著)：昭和49. 信学会全国大会, 756.
- 科学衛星光学トラッキング装置I(斉藤, 古在, 富田と共著)：東大宇宙研報告, 10, 3 A, 1974. 7. P. 400.
- 科学衛星光学トラッキング装置II(斉藤, 古在, 富田, 高須と共著)：東大宇宙研報告, 10, 3 A, 1974. 7. P. 406.
- 科学衛星光学トラッキング装置による科学衛星の観測(座間, 瀬尾, 前田, 栄楽と共著)：東大宇宙研報告, 10, 3 A, 1974. 7. P. 438.
- 円板を用いた結合共振器構造の導波アンテナの近似理論(座間と共著)：昭和50 信学会全国大会, 571.

助手 田代文之助 (TASHIRO Bunnosuke)

- 画像情報の抽出にもとづく交通流の計測システム(高羽禎雄・谷口忠勝と共著)：昭和49年度電子通信学会全国大会講演論文集, 2396, 1974. 7.
- 交通制御方策検討のための自動車交通流のシミュレーション(高羽禎雄・浜田喬・谷口忠勝・兼子隆他2名と共著)：生産研究, 26, 11, 460~466, 1974. 11.



助手 市川 初男 (ICHIKAWA Hatsuo)

Multichannel Acoustic Emission Source Location System and its Application to Fatigue Test of Model Reactor Vessel (coauthors : M. Onoe, K. Yamaguchi, T. Shimada, Y. Shimozuma) : The Second Acoustic Emission Symposium, Session 2, 82~102, 1974. 9.

助手 山田 博章 (YAMADA Hiroaki)

高速疲労ワレ試験における Acoustic Emission の観測(尾上守夫と共著) : 昭和 49 年電子通信学会全国大会, 2381, 1974. 7.

Acoustic Emission During Fatigue of Aluminum Alloy (coauthors : K. Iida, M. Onoe, T. Takahashi, S. Ri) ; proc. 2nd Acoustic Emission Symposium, Session 6, 15~30, 1974. 9.

助手 栗原由紀子 (KURIHARA Yukiko)

GaAs プレーナ型デバイスに対するトラップと基板の影響(長島厚・生駒俊明と共著) : 電子通信学会論文誌, 57-C, 12, 469~470, 1974. 12.

バリットダイオードの小信号解析(原和裕・生駒俊明と共著) : 昭和 49 年度電子通信学会全国大会, 433, 1974. 7.

助手 谷口 忠勝 (TANIGUCHI Tadakatsu)

TRN\*SIM I による野外実験システムのシミュレーション(高羽禎雄・兼子隆と共著) : 昭和 49 年度電子通信学会全国大会講演論文集, 2395, 1974. 7.

画像情報の抽出にもとづく交通流の計測システム(高羽禎雄・田代文之助と共著) : 昭和 49 年度電子通信学会全国大会講演論文集, 2396, 1974. 7.

交通制御方策検討のための自動車交通流のシミュレーション(高羽禎雄・浜田喬・田代文之助・兼子隆他 2 名と共著) : 生産研究, 26, 11, 460~466, 1974. 11.

街路網を対象とした交通流シミュレータ TRN\*SIM II (高羽禎雄・浜田喬他 2 名と共著) : シミュレーション技術研究会資料, III, 2, 1975. 3.

助手 滝本 英之 (TAKIMOTO Hideyuki)

Optical Frequency Translator of the Minimum Residual Carrier (藤井陽一と共著) : VIII IQEC, June 10-13, 1974. X-15.

光ヘテロダイン検波を用いた結像特性の解析(藤井陽一と共著) : 電子通信学会, 光量エレクトロニクス研究会資料, OQE-71-20, 1974. 6.

- 同調可能色素レーザを用いたレーザ電磁回路アナライザ（斉藤成文・藤井陽一・大林周逸と共著）：S. 49, 電子通信学会全国大会, 1115, 1974. 7.
- An optical Heterodyne Radar System for Position and Velocity Detection（藤井陽一と共著）：1974, Laser Radar Conf, Sept. 3, II—7.
- 光ヘテロダイン検波を用いた画像検出（実験）（藤井陽一と共著）：S. 50, 電子通信学会全国大会.
- 光ヘテロダイン・レーザ・レーダ(II)（藤井陽一と共著）：S. 49, 文部省総合研究「レーザ・レーダの基礎および応用」, 第2回研究会, 1975. 2. 6.
- 光ヘテロダインによるレーザ顕微鏡（藤井陽一と共著）：電子通信学会, 光量子エレクトロニクス研究会資料, OQE—74—84 (1975—03).
- 球面波光ヘテロダイン法による速度分布の測定（藤井陽一と共著）：S. 50, 電気学会全国大会.
- 同調可能色素レーザによる吸光分析とその測定誤差（藤井陽一・正村達郎と共著）：S. 50, 電気学会全国大会.

## 第 4 部

教授 野崎 弘 (NOZAKI Hiroshi)

- 物質情報論とその応用：総合科学出版, 1974. 4.
- 物理化学からみた電気接点の導通：電気通信学会, 継電器研究部会, 新 220, 2, 1974. 9.
- 溶液中での棒状高分子の配向性とその電場依存性（鋤柄光則・豊島喜則と共著）：日本生物物理学会第13回講演予稿, 29—F—3, 1974. 9.
- 酸化チタンを用いる Reduced Silver 法（飯田武揚と共著）：電子写真学会, 第34回講演要旨, 22, 1974. 11.
- 酸化チタンによる光泳動画像表示法の研究（豊島喜則・飯田武揚と共著）：電子写真学会, 第34回講演要旨, 18, 1974. 11.
- 光起電体—絶縁体複合層を用いる電子写真の諸法とそれぞれの写真過程における複合層の意義：生産研究, 27, 1, 9, 1975.
- 物質移動における化学力：生産研究, 27, 1975. 3. 26.

教授 加藤 正夫 (KATO Masao)

- 核分裂生成物の利用：スチールデザイン, 130, 34—37, 1974. 3.
- スプラット冷却したアルミニウム—鉄合金の組織とメスパワー効果（三島良治・石田洋一と共著）：軽金属, 24, 5, 204—210, 1974. 5.
- スプラット冷却したアルミニウム—鉄合金の時効とメスパワー効果（三島良治・石田洋

一と共著) : 軽金属, **24**, 5, 211~215, 1974. 5.

ISO 活動への参加に想うこと : 標準化ジャーナル, **1**, 1974. 6.

Mössbauer Sepctrum of  $^{57}\text{Fe}$  and  $^{119\text{m}}\text{Sn}$  Associated with Lattice Defects in Aluminium (coauthors : Y. Ishida, K. Sassa, S. Umeyama and M. Mori) : Inst. Conf. on Applications of the Mössbauer Effect, Bendor France, 1974. 9.

電子線照射した Al 中の  $^{119\text{m}}\text{Sn}$  のメスパワースペクトル(梅山・佐々, 石田らと共著) : 生産研究, **27**, 2, 44~47, 1975. 2.

Al 中の  $^{119\text{m}}\text{Sn}$  のメスパワースペクトル(梅山・佐々・石田らと共著) : 生産研究, **27**, 2, 40~43, 1975. 2.

## 教授 山辺 武郎 (YAMABE Takeo)

Separation of Metal Ions by Mixed Column Ion—Exchange Chromatography (coauthor : T. Hayashi) : Proceedings of the 3rd Symposium on Ion—Exchange, CO6, 229, 1974. 5.

電気透析による下水処理水の脱塩(浦野紘平・江原 亮・武石正雄と共著) : 工業用水, 1974. 3. 50, 1974. 3.

Piezodialysis : Styrene-Butadiene Copolymer Membranes (coauthors : K. Umezawa, S. Yoshida, N. Takai) : Desalination, **15**, 1, 127, 1974. 8.

アセチルセルロースの水和に関する研究(関山繁利・高井信治・梅沢香代子と共著) : 日本海水学会誌, **28**, 3, 175, 1974. 10.

プラスチックの熱分解による炭素系吸着剤の製造に関する研究 : 生産研究, **26**, 11, 495, 1974. 11.

Separation of Metal Ions by Mixed Column Ion-Exchange Chromatography (coauthor : T. Hayashi) : J. Chromatogr., **102**, 273, 1974. 12.

Analysis of Dns-Amino Acids by Liquid Chromatography, I, Selection of Optimum Mobile Phase Composition for Separation of Dns-Amino Acids on Polyvinyl Acetate Gel (coauthors : N. Takai, H. Nakamura) : J. Chromatogr. **104**, 359, 1975. 2.

液体クロマトグラフィーによる PTH アミノ酸の分離(速報)(中村亘志・高井信治と共著) : 生産研究, **26**, 4, 158, 1974. 4.

塩化ビニルの熱分解による炭素吸着剤の製造とそれを用いた液体クロマトグラフィーの研究(速報)(高井信治と共著) : 生産研究, **26**, 5, 178, 1974. 5.

Elution Behaviour of Typical Transition Metals on Single and Mixed Ion-Exchange Columns (coauthors : T. Hayashi, Y. Miwa) : J. Chromatogr., **94**, 271, 1974. 7.

磁気共鳴によるアバタイトの定性, I, 吸着水のNMR(梅沢香代子・平松幹夫・高井信

- 治・梅沢喜夫・西沢 侑・千葉盛人と共著)：分析化学, **24**, 2, 79, 1975. 2.
- ビニルエステル系ポラスポリマーを用いる安息香酸エステルのクロマトグラフィー  
(速報)(高井信治・高木亮一郎と共著)：生産研究, **21**, 6, 233, 1974. 6.
- スチレン系ポラスポリマーに関する基礎的研究とそれを用いたクロマトグラフィー  
(速報)(高井信治と共著)：生産研究, **26**, 7, 278, 1974. 7.
- ポラスポリマーを用いる小型カラムの液体クロマトグラフィー(速報)(高井信治と共著)：生産研究, **26**, 9, 343, 1974. 9.
12. クロマトグラフ分析, 12.1 装置および理論, 12.2 無機クロマトグラフ分析, 12.2.1, 無機カラム・高速液体クロマトグラフィー(分析化学進歩綜説)：分析化学, **23**, 13, 112 R, 114 R, 1974. 12.
- 高速液体クロマトグラフィーの天然有機化合物への応用(4)(総説)(平松幹夫・高井信治と共著)：Fragrance Journal, **2**, 1, 44, 1974. 2.
- ナイロン6を用いる逆浸透膜の研究—逆浸透膜の調整とその性能について(速報)(吉田章一郎と共著)：生産研究, **27**, 1, 30, 1975. 1.
- 高速液体クロマトグラフィの充填剤(総説)(高井信治と共著)：分析機器, 1974, 臨時増刊, 11, 1974. 7.
- ポラスポリマーによるアミノ酸誘導体の分離(総説)(中村亘志・高井信治と共著)：分析機器, 1974, 臨時増刊, 92, 1974. 7.

教授 中村亦夫 (NAKAMURA Matao)

- Viscoelastic Properties of Dilute Aqueous Solution of Methyl Cellulose, J. Soc. Rheology, Japan **2**, No.1, 37, 1974.
- Viscoelastic Properties of Dilute Aqueous Solution of Methyl Cellulose at Ultrasonic Frequencies, J. Appl. Polym. Sci., **18**, 3329, 1974.
- アミロース水溶液の超音波領域における動的粘弾性, 日化誌, **3**, 538, 1975.

教授 武藤 義一 (MUTO Giichi)

- Separation of the Homologous Series of Alkylbenzyltrimethylammonium Halides and Alkylpyridinium Halides by High Performance Liquid Chromatography (coauthor : A. Nakae) : Chemistry Letters **74**, No.6, 1974. 6.
- 最近の公害分析計の進歩：第18回関東支部機器分析講習会テキスト, 1974. 5.
- 環境汚染物質の分析の自動化：第16回九州支部分析化学講習会テキスト, 61~85, 1974. 7.
- 高速液体クロマトグラフィー：同上 87~111.
- 水質計測の立場から：第9回霞が関環境講座テキスト, 62~72, 1974. 12.

教授 今岡 稔 (IMAOKA Minoru)

The Low Temperature Strength of  $\text{Na}_2\text{O-SiO}_2\text{-B}_2\text{O}_3$  Glass Fibers (coauthors : H. Hasegawa others) : *Yogyokyoikaishi* **82**, 7, 387, 1974.

Analysis of Indentations on Glass by Finite Element Method (coauthor : I. Yasui) Tenth International Congress on Glass **11**—53, 1974. 7.

The Internal Friction of Chalcogenide Glasses (coauthor : H. Sakamura) *Glass Techn.* **15**, 4, 1974.

教授 館 充 (TATE Mitsuru)

低温域における酸化鉄の還元過程の高温 X線装置による研究 (李海洙と共著) : 鉄と鋼, **60**, 480, 1974.

焼結鉾の固定層における CO ガス還元 (天辰正義ほかと共著) : 鉄と鋼, **60**, 1425, 1974.  
石油コークスの性状と試験高炉における使用試験 (鈴木吉哉・張東植ほかと共著)

教授 河添邦太郎 (KAWAZOE Kunitaro)

Chromatographic Study of Diffusion in Molecular Sieving Carbon, (coauthors : Chihara, Suzuki) : *J. Chem. Eng. Japan*, **7**, 3, 151~157, 1974. 6.

Correlation of Adsorption Equilibrium Data of various Gases and Vapors of Molecular Sieving Carbon, (coauthors : Kawai, Eguchi, Itoga) : *J. Chem. Eng. Japan*, **7**, 3, 158—162, 1974. 6.

Batch Measurement of Adsorption Rate in a Agitated Tank (coauthors : M. Suzuki) : *J. Chem. Eng. Japan*, **7**, No.5, 346—350, 1974. 10.

Mass Transfer in Adsorption on Bidisperse Porous Materials. (coauthor : Y. Takeuchi) : *J. Chem. Eng. Japan*, **7**, No.6, 431—437, 1974. 12.

化学工学辞典 (新版) 丸善, 1974. 6.

教授 西川 精一 (NISHIKAWA Seiichi)

粒界拡散における数値計算, (梅津と共著) : 日本軽金属学会秋期講演会概要, 37—38, 1974.

Al-Zr 合金の機械的性質に関する研究, (小林と共著) : 軽金属学会誌, **24**, 12, 537—543, 1974.

The Solid solubility of silver in lead, (coauthors : Tsumuraya and Ohno) : *Materials Science and Engineering*, **17**, 1, 169, 1974.

教授 熊野 谿 従 (KUMANOTANI Ju)

A Dielectric, Electro-conductive and NMR (broad line) Study of Antiplasticization in Epoxy Resins, 14th IUPAC Microsymposium on Macromolecules, Crosslinking and Network, Prague, Dug (coauthors : N. Hata and T. Koshio) 26—29, 1974, G9

Heterogeneity in Charge Complex Polymers, 4th IUPAC Discussion Conference on Macromolecules, Heterogenities in Polymers, Marienbad, Sept (coauthors : R. Miyatake and S. Saito) 2—5, 1974, C 4

UV. EB などによる三次元化(予報)(越田・後藤田と共著)：第24回熱硬化性樹脂討論会要旨集, 44

エポキシ樹脂における逆可塑化 IV 電気的性質(越尾・端と共著)：同上, 91

FATIPEC 会議に出席して：塗装の技術, 9, 9, 3

教授 早野 茂夫 (HAYANO Shigeo)

Polarographic Studies of Dispersed Dyes Solubilised in Surfactant Solutions. I. Kinetics of Orange OT Solubilized in Sufactant Solutions (coauthors : H. Suzuki, N. Shimozuka) Bull. Chem. Soc. Japan, 47, 1093~6, 1974.

Internal Reflection Spectroscopic Studies of Adsorbed Layers at Interfaces (coauthors : M. Fujihira, T. Ujiie) : Japan-USSR Seminar on Electrochemistry, Tokyo, 1974. 10.

染色加工工業における排水処理(浅原照三・鈴木基之と共著)：生産研究, 27, 2~8 1975.

教授(併) 浅原 照三 (ASAHARA Teruzo)

Preparation of Polymers with Sulfilimine Structure (coauthors : H. Kise, H. Serita, M. Seno) : Chem. Letters, 1974, 283, 1974.

気相防錆剤に関する研究(第1報)各種化合物の防錆効果について(妹尾 学・李範性と共著)：防食技術, 23, 231, 1974.

気相防錆剤に関する研究(第2報)鉄に対する各種副材料の共存下におけるヘキサメチレンテメラミンの防錆効果について(妹尾 学・李範性と共著)：防食技術, 23, 287, 1974.

X-ray Photoelectron Spectra of Phosphorus YLides. Probing the Phosphorus-Carbon Ylide Bond (coauthors : M. Seno, S. Tsuchiya) : Chem. Letters, 1974, 405, 1974.

スチレンとカルボン酸塩化物からアルキルスチリルケトンの合成 (佐藤 瑠・木瀬秀夫・妹尾学と共著) : 日化, 1974, 1245, 1974.

鉄に対する各種副材料および還元剤存在下のヘキサメチレンテトラミンの防錆効果 (李範性・妹尾学と共著) : 金属表面技術, 25, 392, 1974.

アルミニウムに対する各種副材料の共存下におけるヘキサメチレンテトラミンの防錆効果 (李範性・妹尾学と共著) : 金属表面技術, 25, 398, 1974.

界面活性剤存在下の各種メタクリル酸エステルおよびスチレンの重合 (有田喜一・白石振作・妹尾学と共著) : 日化, 1975, 374, 1975.

界面活性剤存在下のビニルモノマーの重合における微量過酸化物の影響 (有田喜一・白石振作・妹尾学と共著) : 日化, 1975, 379, 1975.

亜リン酸トリエチル塩化鉄を触媒とする 1, 1, 1, 3-テトラクロロプロパンと  $\alpha$ -オレフィンの反応 (佐藤 瑠・栗田有康・木瀬秀夫・妹尾学と共著) : 日化, 1975, 398, 1975.

教授 (研究担当) 明石 和夫 (AKASHI Kazuo)

濃厚アルカリ溶液中に微量に溶存するガリウムの電解析出について (広橋満知子と共著) : 昭和 49 年日本鉱業会研究・業績発表会講演要旨集, 253~254, 1974. 3.

Reduction of Metal Oxides in a Direct Current Plasma arc (Coauthors : R. Ishizuka, T. Mutobe) : proceedings 4th Intern. Conference on Vacuum Metallurgy, 165~169, 1974.

高周波プラズマの数値解析 (六戸部豊信と共著) : 生産研究, 26, 9, 346~350, 1974. 9.

写真撮影による簡単な高周波プラズマの診断 (六戸部豊信と共著) : 生産研究 26, 9, 351~354, 1974. 9.

高周波プラズマトーチを利用した球状化粒子及び超微粉体の作成 (六戸部豊信と共著) : 生産研究, 26, 10, 368~372, 1974. 10.

On the anodic Behaviors of Graphite in Molten potassium Fluoroborate-Boron Trioxide Mixture (Coauthor : Jen-Chi Huang) : DENKI KAGAKU, 42, 10, 501~507, 1974. 10.

プラズマの製錬への応用 (石塚隆一, 六戸部豊信と共著) : 昭和 49 年度日本鉱業会合同秋季大会分科研究会資料, H 1-10, 1~6, 1974. 10.

助教授 原 善四郎 (HARA Zenshiro)

低抗焼結法による繊維強化材料の製造の試み (明智清明, 板橋正雄と共著) : 粉体粉末冶金協会昭和 49 年度春季大会講演概要集, 46~47, 1974

スウェーディングの繊維整列効果—鋼繊維強化銅の作成 (藤森直治と共著) : 粉体粉末冶金 203

- 協会昭和 49 年度春季大会講演概要集, 44~45, 1974.
- アルミニウム粉末の抵抗焼結 (坂井徹郎と共著): 粉体粉末冶金協会昭和 49 年度春季大会講演概要集, 48~49, 1974
- チタン粉末の抵抗焼結 (明智清明, 藤森直治, 吉沢徹夫と共著): 粉体粉末冶金協会昭和 49 年度秋季大会講演概要集, 40~41, 1974.
- 抵抗焼結法による繊維強化金属の製造の試み (第 1 報) (明智清明, 板橋正雄と共著): 生産研究, **26**, 8, 300~303, 1974.
- 抵抗焼結法による繊維強化金属の製造の試み (第 2 報) (明智清明, 板橋正雄と共著): 生産研究, **26**, 9, 340~342, 1974
- アルミニウム粉末の焼結現象におよぼす mixing 処理の影響 (明智清明と共著): 生産研究, **26**, 12, 523~526, 1974
- 亜鉛製造製錬所排煙による重金属汚染: 生産研究, **26**, 4, 145~147, 1974.
- Resistance Sintering of Aluminium Powder (Coauthor: T. Sakai): Proceedings of the 4th International Powder Metallurgy Conference in CSSR, vol. II, 175~187, 1974.
- 武州金属について: 科学者運動, **1**, 72~75, 1974.

助教授 本多 健一 (HONDA Kenichi)

- Nematic Liquid Crystal as an Anisotropic Solvent in Spectroscopic Measurements (coauthors: T. Watanabe, M. Sukigara): 生産研究, **26**, 5, 188, 1974.
- 光分解性ポリスチレンの研究 (中村賢市郎と共著): 高分子論文集, **31**, 6, 373, 1974.
- Potential Variation at the Semiconductor-Electrolyte Interface through a Change in PH of the Solution. (coauthors: T. Watanabe, A. Fujishima): Chemistry Letters, 897, 1974.
- Spectral Sensitization of photo-Electrochemical Reactions of Cadmium Sulfide Single Crystal Electrode. (coauthors: A. Fujishima, T. Watanabe, O. Tatuoki): Chemistry Letters, **13**, 1, 1975.
- 回転リング・ディスク電極の基礎と応用 (藤島 昭と共著): 電気化学, **42**, 5, 213, 1974.
- 光化学反応と電気化学反応を用いるクリーンエネルギーの変換 (藤島昭と共著): 化学, **29**, 10, 746, 1974.
- 光をとりこむ電気化学プロセス (藤島昭と共著): 化学と工業, **27**, 11, 814, 1974.
- プラスチックの光分解に関する研究 (鋤柄光則, 中村賢市郎, 阿部隆夫と共著): 生産研究, **26**, 11, 480, 1974.
- 光電極反応と電気化学的分光増減 (藤島昭と共著): 日本写真学会誌, **37**, 6, 303, 1974.



助教授 妹尾 学 (SENO Manabu)

- Preparation of Polymers with Sulfilimine Structure (coauthors : H. Kise, H. Serita, T. Asahara) : Chem-Letters, **1974**, 283, 1974.
- 気相防錆剤に関する研究 (第1報) 各種化合物の防錆効果について (浅原照三, 李範性と共著) : 防食技術, **2** , 231, 1974.
- 気相防錆剤に関する研究 (第2報) 鉄に対する各種副材料の共存下におけるヘキサメチレンテトラミンの防錆効果について (浅原照三, 李範性と共著) : 防食技術, **23**, 287, 1974.
- X-ray Photoelectron Spectra of Phosphorus Ylides. Probing the Phosphorus-Carbon Ylide Bond (coauthors : T. Asahara, S. Tsuchiya) : Chem. Letters, **1974**, 405, 1974.
- スチレンとカルボン酸塩化物からアルキルスチリルケトンの合成 (佐藤 瑠・木瀬秀夫・浅原照三と共著) : 日化, **1974**, 1245, 1974.
- 鉄に対する各種副材料および還元剤存在下のヘキサメチレンテトラミンの防錆効果 (李範性, 浅原照三と共著) : 金属表面技術, **25**, 392, 1974.
- アルミニウムに対する各種副材料の共存下におけるヘキサメチレンテトラミンの防錆効果 (李範性・浅原照三と共著) : 金属表面技術, **25**, 398, 1974.
- 界面活性剤存在下の各種メタクリル酸エステルおよびスチレンの重合 (有田喜一, 白石振作, 浅原照三と共著) : 日化, **1975**, 374, 1975.
- 界面活性剤存在下のビニルモノマーの重合における微量過酸化物の影響 (有田喜一, 白石振作, 浅原照三と共著) : 日化, **1975**, 379, 1975.
- 亜リン酸トリエチルー塩化鉄を触媒とする 1, 1, 1, 3-テトラクロロプロパンと $\alpha$ -オレフィンの反応 (佐藤 瑠, 栗田有康, 木瀬秀夫, 浅原照三と共著) : 日化, **1975**, 398, 1975.
- Thermochemical Studies on Platinum-Olefin Complexes I. (coauthors : K. Iwamoto, T. Asahara) : Bull. Soc. Japan, **47**, 2189, 1974.
- Telomerization of Ethylene with Chloroform Initiated by N-Chloroalkylamines. (coauthors, T.Asahara, N. Ohtani), Bull. Chem. Soc. Japan, **47**, 2007, 1974.
- Reactions of Ethylene with chloroform Initiated by Amine-Ferrous chloride System, (Coauthors, T. Asahara, N. Ohtani), Bull. chem. Soc. Japan, **47**, , 142, 1974.
- 巨視的にみた非平衡状態 : 化学総説. 5, 1, 1974.
- 水をつくる一海水の淡水化 (吉田章一郎と共著) : 共立出版, 1974.
- プラスチック廃棄物のリサイクルシステム, 工業材料, **22**, 5, 41, 1974.

助教授 石田 洋一 (ISHIDA Yoichi)

Field-Ion Microscopy Observation of Ordered Grain Boundary Structures in Tungsten (coauthor : D.A. Smith) : Scripta Met., 8, 293, 1974.

In Situ Observation of Whisker Growth in Eutectoid Zn-Al Strained at Elevated Temperatures (coauthors : K. Suzuki, M. Ichihara) : Proc. Int. Congr. on Electron Microscopy, Canberra, 1, 564, 1974.

Electron Channeling Pattern Analysis of [100] Tilt Boundaries in Vapor Grown Iron Bicrystals (coauthors : M. Yamamoto, S. Kimura) : Proc. Int. Congr. on Electron Microscopy, Canberra, 1, 596, 1974.

On the Burgers Vector of Grain Boundary Dislocation (coauthor : M. McLean) : Phil. Mag., 30, 453, 1974.

スプラット冷却したアルミニウム—鉄合金の組織とメスbauer効果 (三島良治・加藤正夫と共著) : 軽金属, 24, 204, 1974.

スプラット冷却したアルミニウム—鉄合金の時効とメスbauer効果 (三島良治・加藤正夫と共著) : 軽金属, 24, 211, 1974.

亜鉛アルミニウム共析合金高温変形の動的電顕観察 (鈴木邦夫・市原正樹と共著) : 日本金属学会春期講演概要集, 36, 1974.

くさび型回位とその配列の泡模型解析 (井上俊司と共著) : 日本物理学会春期分科会予稿集, 200, 1974.

Zn-Al 共析合金の電顕内高温引張り変形 (鈴木邦夫・市原正樹と共著) : 日本電子顕微鏡学会第30回学術講演会予稿集, 153, 1974.

結晶粒界の構造と諸性質 : 日本金属学会シンポジウム「粒界構造と諸性質」予稿集】1, 1974.

電顕格子像による金蒸着膜粒界の解析 (田中昭・渡辺栄一と共著) : 日本金属学会秋期講演会概要集, 215, 1974.

アルミニウムに打ち込まれた  $^{57}\text{Fe}$  のメスbauerスペクトル (佐々絃一・加藤正夫と共著) : 同上, 228, 1974.

アルミニウム錫合金中の  $^{119}\text{Sn}$  のメスbauer効果 (梅山伸二・佐々絃一・加藤正夫と共著) : 同上, 228, 1974.

電子線照射した Al—Sn 合金中の  $^{119}\text{Sn}$  メスbauerスペクトル (梅山伸二・佐々絃一・加藤正夫と共著) : 日本物理学界第29回年会予稿集, 2, 62 (1974)

結晶粒界構造解析の諸手法 : 日本金属学会関東支部シンポジウム「新しい金属研究の手法とその応用」予稿集 1974.

結晶粒界の構造と粒界移動の機構 : 日本鉄鋼協会鉄鋼基礎研究会再結晶部会報告集, 15, 1974.

ディスクリネーション：日本金属学会報，**13**，286，1974.

亜鉛アルミニウム共析合金の高温引張りにおけるひげ結晶の成長(鈴木・市原と共著)：  
日本金属学会誌，**38**，920，1974.

金属結晶粒界の構造と諸性質：表面，**12**，645，1974.

アルミニウム結晶粒界の構造と諸性質：軽金属，**25**，1975.

助教授 高橋 浩 (TAKAHASHI Hiroshi)

Characteristic Studies on Dealumination of Faujasite-type Zeolite (coauthors : K. Tsutsumi, H. Kajiwara) : Bull. Chem. Soc. Japan, 4, 801~805, 1974. 4.

The Effects of the Composition of Raw Cadmium Sulfide on the Characteristics of Cadmium Pigments (coauthor : M. Tsunashima) : Bull. Chem. Soc. Japan, 4, 962~964, 1974. 4.

高分子複合材料の熱伝導に関する研究(第2報)—Schröder法によるPVC—黒鉛系の測定—(荻野圭三・橋本信男と共著)：生産研究，**26**，**8**，315~317，1974. 8.

無機充填剤—プラスチック系複合材料の特性—メカノケミカル反応を用いる表面改質と充填剤としての効果(浅原照三・由井浩と共著)：第7回複合材料シンポジウム発表論文集，31~34，1974. 10.

プラスチック—無機充填剤系複合組成物に関する研究：生産研究，**26**，**11**，490~494，1974. 11.

FCC廃触媒による汚水中の重金属イオンの除去(三箇清治・倉田陽・西村陽一と共著)：水処理技術，**16**，**1**，63~66，1975. 1.

固体における化学構造と分類：固体の化学(高橋浩編)：1~10，技報堂，1974. 4.

ゼオライトの構造，ゼオライトの一般的性質(堤和男と共著)：P—キンレンの分離概要，アロマックス法：ゼオライト—基礎と応用(原伸宜・高橋浩編)1~24，58~88，260~261，263，講談社，1975. 2.

助教授 白石 振作 (SHIRAISHI Shinsaku)

ニトリルオキシドの反応：有合化誌，**32**，**5**，362，1974.

いろいろなオリゴマー(浅原照三と共著)：化学と工業，**27**，**10**，735，1974.

オリゴ(エチレンピベラジン)の合成とそれを用いたポリアミドの合成(中村亦夫・藤井幸喜と共著)：旭硝子工業技術奨励会研究報告，**23**，297，1973.

界面活性剤存在下の各種メタクリル酸エステルおよびスチレンの重合(有田喜一・妹尾学・浅原照三と共著)：日化，1975，**2**，374.

界面活性剤存在下のビニルモノマーの重合における微量過酸化物の影響(有田喜一・妹尾学・浅原照三と共著)：日化，1975，**2**，379.

助教授 鈴木 基之 (SUZUKI Motoyuki)

Chromatographic study of diffusion in molecular-sieving carbon (co-author : K. Kawazoe and K. Chihara) : J. Chem. Eng. Japan, 7, 3, 1974.

Zone Spreading in gel chromatography : J. Chem. Eng. Japan, 7, 4, 1974.

Batch measurement of adsorption rate in an agitated tank-pore diffusion kinetics with rectangular isotherm (coauthor : K. Kawazoe) : J. Chem. Eng. Japan, 7, 5, 1974.

Particle-to-liquid mass transfer in a stirred tank with basket impeller (co-author K. Kawazoe) : J. Chem. Eng. Japan, 8, 1, 1975.

Transport and rate parameters by gas chromatographic technique (co-author J.M. : Smith) : Advances in Chromatography, 13, 1974.

都市下水三次処理に用いた粒状活性炭、過熱水蒸気流動による再生(河添と共著) : 化学工学協会第 39 年会, II, E, 105, 263—265, 1974.

非線型 (Freundlich) 平衡系における回分吸着 (河添と共著) : 化学工学協会第 8 回秋季大会 B 301, 194—195, 1974.

有機物水溶液における活性炭吸着速度 (河添と共著) : 化学工学協会第 8 回秋季大会 B 302, 196—197, 1974.

回分液相吸着におけるモーメント法の応用(古沢と共著) : 化学工学協会第 8 回秋季大会 C 219, 294—295, 1974.

Concentration decay in a batch adsorption tank-surface diffusion kinetics with Freundlich isotherms—(coauthor : K. Kawazoe) : 生産研究, 26, 7, 275—277, 1974.

Concentration decay in a batch adsorption tank—pore diffusion kinetics with Freundlich isotherms—(coauthor : K. Kawazoe) : 生産研究, 26, 8, 296—299, 1974.

染色加工工場廃水処理のシステム化(浅原・早野・代田と共著) : 日本学術振興会第 120 委員会報告, 1974, 8.

プラスチック廃棄物の熱分解による油の回収 : 生産研究, 26, 11, 499—502, 1974.

染色加工工業における排水処理(浅原・早野と共著) : 生産研究, 27, 1, 2—8, 1975.

精製糖工場排水の処理について(多田・河添と共著) : 生産研究, 27, 2, 37—43, 1975.

河川における汚染物質の拡散の研究(山田・宮崎・河添と共著) : 生産研究, 27, 3, 1975.

助教授 井野 博満 (INO Hiromitsu)

A Study of Spinodal Decomposition in Fe-Ni-Al Alloys by Mossbauer Effect (coauthors : M. Saito, Y. Sumitomo) : Trans. Japan Inst. Metals, 15, 306—313, 1974.

高炭素マルテンサイト鋼の格子間炭素位置(藤田英一・志賀千晃・守屋健と共著)：日本金属学会誌, **38**, 1030~1037, 1974.

助教授 鋤柄 光則 (SUKIGARA Mitsunori)

Nematic Liquid Crystal as an Anisotropic Solvent in Spectroscopic measurements, (coauthors: T. Watanabe, K. Honda)：生産研究, **26**, 188~190, 1974.

Photoconduction and Intermolecular Interaction in Auramine Crystal, (coauthors: Y. Aikawa, K. Honda)：ICPS, Section 5, 88~91, Dresden, Sept. 1974.

プラスチックの光分解に関する研究(本多健一・中村賢市郎・阿部隆夫と共著)：生産研究, **26**, 480~484, 1974.

ICPS 報告 (非銀塩感光材)：日写誌, **37**, 351~352, 1974.

ネマティック液晶を溶媒としたアゾ色素の偏光スペクトル(戸田清他と共著)：日化誌, 459~462, 1975.

助教授 増子 昇 (MASUKO Noboru)

熱化学プロセスのエネルギー効率(高橋正雄と共著)：溶融塩, **17**, 285, 1974. 11.

局部腐食の定量的評価法：日本金属学会シンポジウム "孔食の研究における最近の進歩と問題点" 予稿集, 1974, 12.

講師 大蔵 明光 (OKURA Akimitsu)

鉄ウイスキーの中性子照射による機械的性質変化：鉄と鋼, **60**, 1974. 4.

混合ガスによる非等温還元：鉄と鋼, **60**, 1974. 11.

助手 佐藤 乙丸 (SATO Otomaru)

FP(核分裂生成物)の利用開発現況：原子力工業, **20**, 11, 29-32, 1974. 11.

RI 技術による表面水の流れ：Isotope News, No.247, 2~5, 1975. 2.

電気工学年報(昭和48・49年度版)原子力：放射線および放射性同位元素, 465~466, 1975. 1.

助手 長谷川 洋 (HASEGAWA Hiroshi)

The Low Temperature Strength of  $N_{22}O-SiO_2-B_2O_3$  Glass Fibers (coauthors: M. Imaoka, others)：Yogyakyokaishi, **82**, 7, 387, 1974.

助手(特別研究員) 豊島 喜則 (TOYOSHIMA Yoshinory)

生体膜と化学反応制御(野崎弘と共著)：生産研究, **26**, 163, 1974.

Electrical Phenomena Motivated by External works between two Electrodes

Separated by Organic Materials, (coauthor : Hiroshi Nozaki):7th International conference on Electrical Contact Phenomena, Jun. 1974.

逆浸透法の開発状況と透過機構, 化学工業, 25, 1239, 1974.

荷電膜中の小イオンの挙動: 化学工業, 26, 312, 1975.

Chloride Flux in Bilayer Membranes: The Electrically Silent Chloride Flux in Spherical Bilayers, (coauthor : T. E. Thompson) Biochemistry, 44, 3, 1975.

Chloride Flux in Bilayer Membranes: Chloride permeability in Aqueous Dispersions of Single-walled Bilayers, (coauthor : T. E. Thomson): Biochemistry, 14, 3, 1975.

助手(特別研究員) 木瀬 秀夫 (KISE Hideo)

Preparation of Polymers with Sulfilimine Structure (coauthors: H. Serita, M. Seno, T. Asahara): Chem. Letters, 1974, 283, 1974.

スチレンとカルボン酸塩化物からアルキルスチリルケントの合成 (佐藤瑛・妹尾学・浅原照三と共著): 日化, 1974, 1245, 1974.

芳香族アミンと $\alpha$ -メチルスチレンおよびスチレンとのアニオンテロメリゼーション(妹尾学・和智進一・浅原照三と共著): 日本化学会第30春季年会要旨集, 2 Q 14, 1974.

ラパンジュリルメチルエーテルおよびイソゲラニルメチルエーテルの合成 (佐藤瑛・妹尾学・浅原照三と共著): 日本化学会第31秋季年会, 3 C 07, 1974.

亜リン酸トリエチル—塩化鉄を触媒とする1, 1, 1, 3-テトラクロロプロパンとオレフィンの反応 (佐藤瑛, 妹尾学, 浅原照三と共著): 日化, 1975, 398, 1975.

助手(特別研究員) 飯田 武揚 (IIDA Takeaki)

酸化チタンを用いる Reduced Silver 法の研究 (野崎らと共著): 電子写真学会第34回研究討論会予稿, 1974. 11.

酸化チタンによる光泳動画像表示法の研究 (野崎・豊島・小貝川らと共著): 電子写真学会第34. 11.

$^{13}\text{C}$ -NMR で何がわかるか (解説): 化学と工業, 27, 1974.

$^{13}\text{C}$ -NMR の酵素反応への応用(総説): 生体関連物質の追跡における分光学的方法(有機合成化学協会篇); 21~30, 1974. 12.

助手(特別研究員) 小川昭二郎 (OGAWA Shojiro)

Preparation of a Conjugated Tautomer of 1,14:7,8-Diethenotetrapyrido-[2,1,6-de:2',1',6'-gh:2'',1'',6'''-kl:2''',1''',6''''-na] [1,3,5,8,10,12]hexaazacyclotetradecine and its Metal Derivatives (coauthors: T. Yamaguchi, N. Gotoh): J. Chem. Soc. Perkin I, 976, 1974.

助手 高井 信治 (TAKAI Nobuharu)

液体クロマトグラフィーによるPTHアミノ酸の分離(速報)(山辺武郎, 中村亘志と共著):生産研究, **26**, 4, 158, 1974. 4.

塩化ビニルの熱分解による炭素吸着剤の製造とそれを用いた液体クロマトグラフィーの研究(速報)(山辺武郎と共著):生産研究, **26**, 5, 178, 1974, 5.

高速液体クロマトグラフィーの充填剤(総説)(山辺武郎と共著)分析機器増刊, **11**, 1974, 7.

ポラスポリマーによるアミノ酸誘導体の分離(総説)(山辺武郎・中村亘志と共著)分析材器増刊, **92**, 1974. 7.

Piezodialysis: Styrene-Butadien Copolymer membrans. (coauthors: T. Yamabe, K. Umezawa, Sh, Yoshida.): Desalination. **15**, 1, 127, 1974, 8.

ビニルエステル系ポラスポリマーを用いる安息香酸エステルのクロマトグラフィー(速報)(山辺武郎・高木亮一郎と共著):生産研究, **26**, 9, 233, 1974, 9.

アセチルセルロースの水和に関する研究(山辺武郎・関山繁利・梅沢香代子と共著):海水誌 **28**, 3, 179, 1974, 9.

スチレン系ポラスポリマーに関する基礎的研究とそれを用いたクロマトグラフィー(速報)(山辺武郎と共著):生産研究, **26**, 7, 278, 1974, 7.

ポラスポリマーを用いる小形カラムの液体クロマトグラフィー(速報):(山辺武郎と共著):生産研究, **26**, 9, 343, 1974, 9.

磯気共鳴によるアバタイトの定性, I, 吸着水の NMR (梅沢香代子, 平松幹夫, 山辺武郎, 梅沢喜夫, 西沢信, 千葉盛人と共著):分析化学, **24**, 2, 79, 1975. 2.

Analysis of Dns-Amino Acids by Lipuid Chromatograply I. Selection of Optirum Mobile Phase Couposition for Separation of Dns-Amino Acids on Polyvinyl Acetate Gel (coauthors: T. Tanabe. H. Nakamura): J. Chromatogr., **104**, 359, 1975. 2.

助手 明智 清明 (AKECHI Kiyooki)

抵抗焼結法による繊維強化材料の製造の試み(原善四郎, 板橋正雄と共著):粉体粉末冶金協会昭和49年度春季大会講演概要集, 46~47, 1974.

銀圧粉体の焼結における収縮現象(原善四郎と共著):日本金属学会講演概要, 昭格49年度秋季大会, 258~259, 1974.

チタン粉末の抵抗焼結(原善四郎, 藤森直治, 吉沢徹夫と共著):粉体粉末冶金協会昭和49年度秋季大会講演概要集, 40~41, 1974.

疎外(感)と人間(生研技術論研究会で共著):工学セミナ, **2**, 2, 133~145, 1974.

70年代の科学技術の動向（生研技術論研究会で共著）：科学者運動，創刊号，13～44，1974.

溶接技術と技量検定および職業訓練・教育：工学セミナ，3，1，24～28，1974.

抵抗焼結法による繊維強化金属の製造の試み（第1報）（原善四郎・板橋正雄と共著）：生産研究，26，8，300～303，1974.

抵抗焼結法による繊維強化金属の製造の試み（第2報）（原善四郎・板橋正雄と共著）：生産研究，26，9，340～342，1974.

アルミニウム粉末の焼結現象におよぼす mixing 処理の影響（原善四郎と共著）：生産研究，26，12，523～526，1974.

助手 安井 至（YASUI Itaru）

Analysis of Indentations on Glass by Finite Element Method (coauthor : M. Imaoka) : Tenth International Congress on Glass 11—53, 1974. 7

助手 七尾 進（NANA O Susumu）

Studies of Voids in Heavily Neutron Damaged Nickel by Positron Annihilation (coauthors : K. kuribayashi, S. Tanigawa, M. Doyama) : Materials Science & Engineering, 18, 285—287, 1974.

The Effect of the Eutectoid Decomposition in  $\beta$ -CuAl on positron Annihilation (coauthors : K. kuribayashi, S. Tanigawa, M. Doyama) : Scripta Metallurgica.

助手（特別研究員） 藤平 正道（FUJIHIRA Masamichi）

Internal Reflection spectroscopic studies of Adsorbed Layers at Interfaces (coauthors : S. Hayano, T. Ujiie) : Japan-USSR seminar on Electrochemistry, Tokyo, 1974. 10.

技官 梅津 清（UMEZU kiyoshi）

粒界拡散における数値計算，（西川と共著）：日本軽金属学会秋期講演会概要，37—38，1974.

技官 季 章鎬（LI Jan-ho）

3，6'-および3，8'-ジベンゾアントロニルの合成とそれらのアルカリ縮合（故後藤信行と共著）：有機合成化学協会誌，32，718，1974.

技官 梅沢香代子（UMEZAWA kayoko）

Piezodialysis : Styrene-Butadiene Copolymer Membranes (coauthors : T. Yamabe,



S. Yoshida, N. Takai) : Desalination, 15, 1, 127, 1974, 8.

アセチルセルロースの水和に関する研究 (山辺武郎・関山繁利・高井信治と共著) : 日本海水学会誌, 28, 3, 175, 1974, 10.

磯気共鳴によるアバタイトの定性, I, 吸着水の NMR (山辺武郎 平松幹夫・高井信治・梅沢喜夫・西沢信・千葉盛人と共著) : 分析化学, 24, 2, 79, 1975, 2.

技 官 坂村 博康 (SAKAMURA Hiroyasu)

The Internal Friction of Chalcogenide Glass (coauthor : M. Imaoka) Glass Techn., 15, 4, 1974.

技 官 吉田章一郎 (YOSHIDA shoichirō)

Piezodialysis : Styrene-Butadiene Copolymer membranes ( coauthors : T. Yamabe, K. Umezawa, N. Takai) Desalination, 15, 1, 127, 1974, 8.

ナイロン6を用いる逆浸透膜の研究(その1) 逆浸透膜の調節とその性能について (速報) (山辺武郎と共著) : 生産研究 27, 1, 30, 1975, 7.

## 第 5 部

教 授 勝田 高司 (SHODA Takashi)

閉鎖的空間内の気流性状 (村上周三・小林信行・戸河里敏と共著) : 生産研究, 26, 5, 1974.

温風暖房時の室内温度分布に対するアルキメデス数の影響 (村上周三・小林信行・戸河里敏と共著) : 生産研究, 26, 6, 1974.

建物間の空間の換気回数に関する実験的研究 (野外実験と風洞模型実験の比較) (村上周三・池田耕一・上原清と共著) : 気象研究ノート, 第 119 号, 1974, 6.

建物周辺気流に関する風洞実験と実測 (村上周三・上原清・池田耕一と共著) : 気象研究ノート, 第 119 号, 1974, 6.

温風暖房時の室内気流の可視化 (村上周三・小林信行・戸河里敏と共著) : 流れの可視化シンポジウム (第 2 回), 1974, 7.

空気調和の騒音に関する研究—スリットの気流音について— (寺尾道仁と共著) : 日本建築学会大会学術講演梗概集, 1974, 10.

建物近傍の拡散に関する相似則の検討—屋外模型実験と風洞模型実験の比較— (村上周三・池田耕一と共著) : 日本建築学会大会学術講演梗概集, 1974, 10.

閉鎖的空間の気流性状に関する研究—室内空間・中庭空間の乱れの性状— (村上周三・小林信行・戸河里敏と共著) : 日本建築学会大会学術講演梗概集, 1974, 10.

閉鎖空間の温度分布に関する研究—A<sub>1</sub>数が等しい場合の室内温度分布の相似性について— (村上周三・小林信行・戸河里敏と共著) : 日本建築学会大会学術講演梗概集, 1974, 10.

- 半閉鎖空間の空気分布に関する研究—片廊下における排気ガスの拡散—(村上周三・小林信行・岸幸雄と共著)：日本建築学会大会学術講演梗概集，1974. 10.
- 風洞気流に対する模型の Blocking-Effect に関する研究(続)—模型寸法による周辺風速分布の違いについて—(村上周三・上原清と共著)：日本建築学会大会学術講演梗概集，1974. 10.
- 基礎的配置モデル周辺の風速と乱れの分布に関する風洞実験(村上周三・池田耕一・上原清と共著)：日本建築学会大会学術講演梗概集，1974. 10.
- 建物近傍にフェンスを配置した時の風速分布に関する風洞実験—防風フェンスの最適な設置位置，及び形状について—(村上周三・池田耕一・上原清・杉山栄次と共著)：日本建築学会大会学術講演梗概集，1974. 10.
- 都市集合住宅における暖冷房給湯換気設備の使用実態及び要求度に関する研究(特に外部環境との関連について)(村上周三・吉野博・美安敏範と共著)：日本建築学会大会学術講演梗概集，1974. 10.
- 集合住宅における冷房設備導入のアセスメントに関する研究(村上周三・吉野博と共著)：日本建築学会大会学術講演梗概集，1974. 10.
- 空気調和の気流音に関する基礎的モデル実験(寺尾道仁と共著)：日本音響学会講演論文集，1974. 10.
- 外壁面近傍気流の実測 その1 平均流の3次元的な解析(村上周三・小林信行と共著)：日本建築学会関東支部研究報告集，1974. 12.
- 外壁面近傍気流の実測 その2 変動成分の3次元的な解析(村上周三・小林信行・岸幸雄と共著)：日本建築学会関東支部研究報告集，1974. 12.
- 外壁面近傍気流の実測 その3 洗濯干し物の揺れ方及び壁面内外差圧と気流の関係(村上周三・小林信行・上原清と共著)：日本建築学会関東支部研究報告集，1974. 12.
- 閉鎖的空間の気流性状 その1 逆Y型中庭空間の乱れの性状(村上周三・小林信行・大場正昭と共著)：日本建築学会関東支部研究報告集，1974. 12.
- 閉鎖的空間の気流性状 その2 逆Y型中庭空間における煙の拡散と換気回数(村上周三・小林信行・大場正昭と共著)：日本建築学会関東支部研究報告集，1974. 12.
- 暖房実態の追跡調査と用途別年間エネルギー消費量(村上周三・吉野博と共著)：日本建築学会関東支部研究報告集，1974. 12.
- 空気調和の騒音に関する基礎的研究—スリットの気流音について—(寺尾道仁と共著)：日本建築学会関東支部研究報告集，1974. 12.
- 建物周辺に発生する強風に関する研究(村上周三・池田耕一・上原清と共著)：生産研究，27，1975. 3.

教授 久保慶三郎 (KUBO Keizaburo)

- 日本の土木地理・新潟地震と対策 土木学会編：森北出版，1974.
- コンビナート保安防災技術指針，高圧ガス保安協会編：1974.
- 水道管の震害特性(外1名)：生産研究 21，11，8—12，1974.
- 都市構造物の耐震強度の調査研究概要：生産研究 26，11，3～7，1974.
- Aseismic Protection Policies in Japan, Preprint of ON-ECE Seminar (Bucharest)

1974.

相関示を用いた振動示測について(外2名):土木学会第29画年次学術世演概要集, 1974.

地下埋左等の地震被害について(外2名):土木学会第29画年次学術世演概要集, 1974.

### 教授 池辺 陽 (IKEBE Kiyoshi)

設計プロセス/道具の提案(共著):彰国社, 1974. 10.

ヒューマンアセスメント:JIDPO, 日本産業デザイン振興会, 4, 3, だ974. 7.

建築技術の今日的視点:施工, No.101, 1975. 1.

### 教授 田中 尚 (TANAKA Hisashi)

ランダム振動における降伏レベル繰返し数と初通過平均時間について(洪起と共著):日本建築学会大会学術講演梗概集, 1974. 10.

繰返し軸力を受ける鋼部材の復元力特性に関する研究(重信恒雄と共著):日本建築学会大会学術講演梗概集, 1974. 10.

繰返し載荷を受ける鋼製柱の曲げ捩れ崩壊(宇田川邦明・高梨晃一と共著):日本建築学会大会学術講演梗概集, 1974. 10.

H型鋼梁の横補剛に関する研究(その1)(その2)(最相元雄と共著):日本建築学会論文報告集, 223, 224, 1974. 9. 10.

薄肉開断面直線部材の増分つりあい式について(宇田川邦明と共著):日本建築学会論文報告集, 224, 1974. 10.

電算機一試験機オンラインシステムによる構造物の地震時崩壊の解析(高梨晃一・宇田川邦明・関松太郎と共著):生産研究, 26, 11, 1974. 11.

電算機一試験機オンラインシステムによる構造物の非線形地震応答解析(高梨晃一・宇田川邦明・関松太郎・岡田恒男と共著):日本建築学会論文報告集, 229, 1975. 3.

### 教授 石井 聖光 (ISHII Kiyoteru)

遮音に関する模型実験(橋秀樹と共著):音響技術, 3, 1, 95~103, 1974. 4.

道路交通騒音の分析に関する検討(山口道征・岩瀬昭雄と共著):日本音響学会講演論文集, 29~30, 1974. 6.

コインシデンス効果の角度特性—模型実験による検討—(折笠輝雄・橋秀樹と共著):日本音響学会講演論文集, 105~106, 1974. 6.

模型実験による空調機械棟からの騒音伝搬の検討(霜田彰・橋秀樹と共著):日本音響学会講演論文集, 111~112, 1974. 6.

法政大学学生会館ホールの音響について(河原一郎・綿谷重規・折笠輝雄・橋秀樹と共

- 著)：日本音響学会講演論文集，129～130，1974. 6.
- 模型実験と計算機のハイブリッドシミュレーションによる交通騒音の検討(岩瀬昭雄と共著)：日本音響学会講演論文集，321～322，1974. 6.
- 信号交差点およびその附近における騒音伝搬性状(有田陽一・山口道征と共著)：日本音響学会講演論文集，333～334，1974. 6.
- 相関法による室内音響の測定(橘秀樹と共著)：日本建築学会大会学術講演梗概集，9～10，1974. 10.
- 固体伝搬音に関する模型実験—その1，相似則に関する考察と基礎的実験—(松田由利・国弘仁・橘秀樹と共著)：日本建築学会大会学術講演梗概集，21～22，1974. 10
- 模型実験による空調設備棟からの騒音伝搬の検討(橘秀樹と共著)：日本建築学会大会学術講演梗概集，47～48，1974. 10.
- 高架道路附近の騒音性状—模型実験と計算機のハイブリッドシミュレーションによる検討—(岩瀬昭雄・山口道征・橘秀樹と共著)：日本建築学会大会学術講演梗概集，57～58，1974. 10.
- 信号交差点附近における騒音伝搬性状(有田陽一・山口道征と共著)：日本建築学会大会学術講演梗概集，59～60，1974. 10.
- 信号交差点における騒音性状(山口道征・有田陽一と共著)：日本建築学会大会学術講演梗概集，61～62，1974. 10.
- 固体音に関する模型実験の基礎的検討(松田由利・国弘仁・橘秀樹と共著)：日本音響学会講演論文集，67～68，1974. 10.
- 相関法による室内パルス，レスポンスの測定(橘秀樹と共著)：日本音響学会講演論文集，81～82，1974. 10.
- M系列変調相関法による残響時間の測定—実験的検討—(橘秀樹と共著)：日本音響学会講演論文集，85～86，1974. 10.
- 道路交通騒音における中央値とエネルギー平均値(山口道征・岩瀬昭雄と共著)：日本音響学会講演論文集，427～428，1974. 10.
- 高架道路附近における騒音性状の検討(岩瀬昭雄・山口道征・橘秀樹と共著)：日本音響学会講演論文集，431～432，1974. 10.
- 道路交通騒音とその周辺建物への伝搬(橘秀樹・山口道征と共著)：生産研究，26，11，446～454，1974. 10.

教授 三木五三郎 (MIKI Gosaburo)

- ピサの斜塔について：土と基礎，土質工学会，22，5，81～88，1974. 5.
- 新しい水溶性加水反応型薬液の構造，性状およびその固結特性(佐藤剛司・所外1名と共著)：第9回土質工学研究発表会，土質工学会，849～852，1974. 6.
5. 土質工学(所外2名と共著)：9. 構造物基礎および地下埋設物：土木設計便覧改訂，

3版, 丸善, 283~357, 617~632, 1974. 6.

日本式ピサの斜塔修復計画: 中央公論, 1052, 221~228, 1974. 11.

S I 単位採用に際しての問題点: 土と基礎, 土質工学会, 22, 12, 78~80, 1974. 12.

Chemical Stabilization of Sandy Soils by Grouting in Japan: Proc. 8th International Conference on Soil Mechanics and Foundation Engineering, Moscow, 4, 3, 395, 1973. 8.

教授 村松貞次郎 (MURAMATSU Teijiro)

神子畑鉄橋調査報告: 日本鋼構造協会機関誌, 10, 99, 33~40, 1974. 3.

日本の近代建築とその技術: 建築雑誌, 89, 1078, 307~308, 1974. 4.

近代の建築: 月刊文化財, 135, 18~29, 1974. 12.

伝統的技術の意口するもの: 施工, 101, 44~52, 1975. 1.

助教授 小林 一輔 (KOBAYASHI Kazusuke)

Micro-Structure of Boundary Plane of Construction Joint of Cement Paste bonded with Epoxy Resin Adhesive (coauthors: S. Takagi, S. Ohama): Proceedings of the 17th Japan Congress on Material Research, 196~199, 1974.

膨張セメントの膨張圧に影響を及ぼす諸要因 (伊藤利治と共著): 土木学会論文報告集, 226, 67~72, 1974. 6.

土木工学ハンドブック (第16編土木材料, 4・2 合成高分子材料): 土木学会編, 816~826, 技報堂, 1974. 11.

土木設計便覧 (6. コンクリート): 359~388, 丸善, 1974. 6.

コンクリートの弾性係数における複合特性 (趙力采と共著): コンクリートジャーナル, 12, 7, 1974. 7.

レジンコンクリートの強度に影響を及ぼす2, 3の要因 (伊藤利治・西村次男と共著): 生産研究, 27, 2, 1975. 2.

レジンコンクリートの補強に関する2, 3の考察 (小林保と共著): 土木学会, 第29回年次学術講演会概要集 第5部, 1974. 10.

抵抗線ひずみゲージによるコンクリートのひずみ測定に関する2, 3の実験的検討 (榎本歳勝・森弥広と共著): 土木学会第29回年次学術講演会概要集第5部, 1974. 10.

鋼繊維によるコンクリートの補強効果と繊維の形状特性 (伊藤利治と共著): 土木学会第29回年次学術講演会概要集第5部, 1974. 10.

コンクリートと複合 (I): 生産研究, 26, 12, 1974. 12.

助教授 川股 重也 (KAWAMATA Shigeya)

Development of a Vibration Control System for structures by means of "Mass Pumps" (coauthors : M. Yoneda, Y. Hangai) : Bulletin of Earthquake Resistant structure Research center, Institute of Industrial Science, 7, 1973.

混合法によるケーブルネットの解析・その1, 不安定架構の性質およびリンク機構の解析 (真柄栄毅・国田二郎と共著) : 日本建築学会論文報告集, 218, 1974. 4.

Analysis of Podded Boiler Type PCRV with Reference to the Analysis of Solid of Revolution : IABSE Seminar on Concrete Structures Subjected to Triaxial Stresses, 1974. 5.

混合法によるケーブルネットの解析・その2, 幾何学的非線形問題の厳密解 (真柄栄毅・国田二郎と共著) : 日本建築学会論文報告集, 220, 1974. 6.

有限要素法を用いた原子炉容器のクリープ解析—線形粘弾性理論による回転対称体 PCPV の解析— (塩屋繁松・高山誠・秋山宏・金井頼利と共著) : コンクリート・ジャーナル, 12, 6, 1974. 6.

Post-Bifurcation Analysis of Shallow Spherical Shells under Uniform Pressure (coauthors : A. Endoh and Y. Hangai) : 生産研究, 26, 1974. 10.

振動減衰機構の開発研究 (米田護・半谷裕彦と共著) : 生産研究, 26, 1974. 11.

コンクリート構造物の有限要素解析 : 第24回応力連合講演論文抄録集, 1974. 11.

有限要素法による球形シェルの分岐屈解析 (遠藤彰と共著) : 第24回応力連合講演論文抄録集, 1974. 11.

制振機構の研究—質量ポンプを用いた新しい防振装置の提案—, 日本造船学会誌 547, 1975. 1.

助教授 越 正毅 (KOSHI Masaki)

自動車排出ガスと走行条件との相関に関する研究 : 臨時事業委員会研究報告, 1974. 5.  
新交通システム・CVS のガイドウェイについて : 土木学会関東支部講演会 (石川二郎と共著) : 283~286, 1974. 5.

交通条件と自動車排出ガスの相関性に関する基礎的研究 (茨木康男と共著) : 第29回年次学術講演会講演概要集, 268~269, 1974. 10.

Optimization of Cycle Time for Computerrized Traffic Signal Systems : 生産研究, 26, 10, 16~19, 1974. 10.

都市交通公害対策の調査研究概要 : 生産研究, 26, 11, 37~38, 1974. 11.

交通信号制御手法に関する実験的研究 : 生産研究, 26, 11, 67~75, 1974. 11.

道路交通の制御手法 : 交通運輸計画シンポジウム発表論文集, 80—86, 1974. 6.

東京都 23 区内自動車走行台キロの推定 (大蔵泉・茨木康男と共著) : 生産研究, 27, 1, 19-22, 1975. 1.

自動車排出ガスの推定法 (大蔵泉と共著) : 文部省特定研究シンポジウム発表研究報告書, 373~380, 1975. 2.

助教授 高梨 晃一 (TAKANASHI Koichi)

繰返し载荷を受ける鋼製柱の曲げ振れ崩壊 (宇田川邦明・田中尚と共著) : 日本建築学会大会学術講演梗概集, 1974. 10.

電算機一試験機オンラインシステムによる構造物の地震時崩壊の解析 (宇田川邦明・関松太郎・田中尚と共著) : 生産研究, 26, 11. 1974. 11.

電算機一試験機オンラインシステムによる構造物の非線形地震応答解析 (宇田川邦明・関松太郎・岡田恒男・田中 尚と共著) : 日本建築学会論文報告集, 229, 1975. 3.

助教授 原 広司 (HARA Hiroshi)

活動等高線 (AC) についての基礎研究 (III) (芦川智・藤井明と共著) : 建築学会大会論文報告, 1974. 10.

活動等高線 (AC) についての基礎研究 (IV) (芦川智・藤井明と共著) : 建築学会大会論文報告, 1974. 10.

住居集合論—中南米地域の領域論的考察, SD 別冊No. 6, 1974. 12.

中南米の旅での考察 (3名) : 「月刊百科」連載論文, 1974. 9~'75. 2.

助教授 村井 俊治 (MURAI Shunji)

アメリカ写真測量学会主催リモートセンシングシンポジウムに参加して : 写真測量, 13, 1.

デジタルテレインモデルとデジタルフォトマップの手法に関する研究 (白・篠田と共著) : 写真測量, 13, 1.

Estimation of Population Density in Tokyo Districts from ERTS-1 Data : Proceedings of IX International Symposium, Michigan Apr., 1974.

地球資源衛星データを用いた首都圏の人口密度の推定 (恒松と共著) : 生産研究, 26, 7.

地球資源衛星デジタルデータの多次元画像解析 (辻内と共著) : 生産研究, 26, 8.

A study on Formation of Digital Terrain Model and Digital Photo Map (coauthor, E. Back) : ISP, Commission IV, Paris

Computer Generated Dot Map for Digital Terrain Model (coauthor, S. Ohbayashi) : ISP, Commission IV, Paris.

リモートセンシングデータのデジタル処理とその応用 : 日米合同セミナー, リモートセンシングの原理と応用.

地球資源衛星データのデジタル解析とその応用：画像工学コンファレンス  
リモートセンシングデータの解析：電気学会誌，94，11.

地球資源衛星デジタルデータの地球的補正（前田・奥田と共著）：写真測量，13，4.  
国際写真測量学会コミッションⅣの分科会Ⅳ－1に参加して：写真測量，13，4.

助教授 片山恒雄 (KATAYAMA Tsuneo)

強震計記録による地震動最大加速度値の統計的解析：第13回地震工学研究発表会講演概要，1974. 7.

単純ラーメン模型の非線形動的挙動に関する実験的研究（久保慶三郎・久岡勉と共著）：  
第13回地震工学研究発表会講演概要，1974. 7.

地下埋設管の地震被害について（久保慶三郎・佐藤暢彦と共著）：土木学会第29回年次  
学術講演会講演概要集，第1部，1974. 10.

相関計を用いた振動計測について（久保慶三郎・佐藤暢彦と共著）：土木学会第29回年  
次学術講演会講演概要集，第1部，1974. 10.

水道管の震害特性（久保慶三郎と共著）：生産研究，26，11，1974. 11.

Expected Damage upon a Structure Caused by Medium Magnitude Earthquakes  
Occurring near the Structure (coauthors : M. Hakuno, K. Toki), The Japan-U-  
S. Joint Seminar on Reliability Approach in Structural Engineering, 1974. 5.

Earthquake Observations at a 35000kl LNG Tank (coauthors : N. Sato, K.  
Kubo) : Bulletin of Earthquake Resistant Structure Research Center, NO. 7,  
1974. 4.

マトリックス有限要素法 (Desai/Abel 共著，山本善之ほかと共訳)：科学技術出版社，  
1974. 8.

構造力学公式集，基礎編第5章振動5.1～5.4：土木学会，93～109，1974. 12.

土木構造物の耐震性について（久保慶三郎と共著）：川崎市の震災予防に関する調査報告  
書，川崎市防災会議地震専門部会，1974. 3.

震災対策基礎調査報告書（地形・地質・地盤編）（鈴木隆介と共著）：東京都国分寺市，  
1975. 1.

助教授 村上周三 (MURAKAMI Shuzo)

閉鎖的空間内の気流性状（勝田高司・小林信行・戸河里敏と共著）：生産研究，26，5，  
1974.

温風暖房時の室内温度分布に対するアルキメデス数の影響（勝田高司・小林信行・戸河  
里敏と共著）：生産研究，26，6，1974.

建物間の空間の換気回数に関する実験的研究（野外実験と風洞模型実験の比較）（勝田高



- 司・池田耕一・上原 清と共著)：気象研究ノート，119，1974. 6.
- 建物周辺気流に関する風洞実験と実測(勝田高司・上原清・池田耕一と共著)：気象研究ノート，119，1974. 6.
- 温風暖房時の室内気流の可視化(勝田高司・小林信行・戸河里敏と共著)：流れの可視化シンポジウム(第2回)，1974. 7.
- 建物近傍の拡散に関する相似則の検討―屋外模型実験と風洞模型実験の比較―(勝田高司・池田耕一と共著)：日本建築学会大会学術講演梗概集，1974. 10.
- 閉鎖的空間の気流性状に関する研究―室内空間・中庭空間の乱れの性状―(勝田高司・小林信行・戸河里敏と共著)：日本建築学会大会学術講演梗概集，1974. 10.
- 閉鎖空間の温度分布に関する研究―A,数が等しい場合の室内温度分布の相似性について―(勝田高司・小林信行・戸河里敏と共著)：日本建築学会大会学術講演梗概集，1974. 10.
- 半閉鎖空間の空気分布に関する研究―片廊下における排気ガスの拡散―(勝田高司・小林信行・岸幸雄と共著)：日本建築学会大会学術講演梗概集，1974. 10.
- 風洞気流に対する模型の Blocking-Effect に関する研究(続)―模型寸法による周辺風速分布の違いについて―(勝田高司・上原清と共著)：日本建築学会大会学術講演梗概集，1974. 10.
- 基礎的配置モデル周辺の風速と乱れの分布に関する風洞実験(勝田高司・池田耕一・上原清と共著)：日本建築学会大会学術講演梗概集，1974. 10.
- 建物近傍にフェンスを配置した時の風速分布に関する風洞実験―防風フェンスの最適な設置位置，及び形状について―(勝田高司・池田耕一・上原清・杉山栄次と共著)：日本建築学会大会学術講演梗概集，1974. 10.
- 都市集合住宅における暖冷房給湯換気設備の使用実態及び要求度に関する研究(特に外部環境との関連について)(勝田高司・吉野博・美安敏範と共著)：日本建築学会大会学術講演梗概集，1974. 10.
- 集合住宅における冷房設備導入のアセスメントに関する研究(勝田高司・吉野博と共著)：日本建築学会大会学術講演梗概集，1974. 10.
- 外壁面近傍気流の実測 その1 平均流の3次元的な解析(勝田高司・小林信行と共著)：日本建築学会関東支部研究報告集，1974. 12.
- 外壁面近傍気流の実測 その2 変動成分の3次元的な解析(勝田高司・小林信行・岸幸雄と共著)：日本建築学会関東支部研究報告集，1974. 12. 外壁面近傍気流の実測 その3 洗濯干し物の揺れ方及び壁面内外差圧と気流の関係(勝田高司・小林信行・上原清と共著)：日本建築学会関東支部研究報告集，1974. 12.
- 閉鎖的空間の気流性状 その1 逆Y型中庭空間の乱れの性状(勝田高司・小林信行・大場正昭と共著)：日本建築学会関東支部研究報告集，1974. 12.
- 閉鎖的空間の気流性状 その2 逆Y型中庭空間における煙の拡散と換気回数(勝田高司

- ・小林信行・大場正昭と共著)：日本建築学会関東支部研究報告集，1974. 12.
- 暖房実態の追跡調査と用途別年間エネルギー消費量(勝田高司・吉野博と共著)：日本建築学会関東支部研究報告集，1974. 12.
- 建物周辺に発生する強風に関する研究(勝田高司・池田耕一・上原清と共著)：生産研究，27，3，1975.

講師 橋 秀樹 (TACHIBANA Hideki)

- 遮音に関する模型実験(石井聖光と共著)：音響技術，3，1，95～103，1974. 4.
- コインシデンス効果の角度特性—模型実験による検討—(折笠輝雄・石井聖光と共著)：日本音響学会講演論文集，105～106，1974. 6.
- 模型実験による空調機械棟からの騒音伝搬の検討(霜田彰・石井聖光と共著)：日本音響学会講演論文集，111～112，1974. 6.
- 法政大学学生会館ホールの音響について(河原一郎・綿谷重規・折笠輝雄・石井聖光と共著)：日本音響学会講演論文集，129～130，1974. 6.
- 相関法による室内音響の測定(石井聖光と共著)：日本建築学会大会学術講演梗概集，9～10，1974. 10.
- 固体伝搬音に関する模型実験—その1，相似則に関する考察と基礎的実験—(松田由利・国弘仁・石井聖光と共著)：日本建築学会大会学術講演梗概集，21～22，1974. 10.
- 模型実験による空調設備棟からの騒音伝搬の検討(石井聖光と共著)：日本建築学会大会学術講演梗概集，47～48，1974. 10.
- 高架道路附近の騒音性状—模型実験と計算機のハイブリッドシミュレーションによる検討—(岩瀬昭雄・山口道征・石井聖光と共著)：日本建築学会大会学術講演梗概集，57～58，1974. 10.
- 固体音に関する模型実験の基礎的検討(松田由利・国弘仁・石井聖光と共著)：日本音響学会講演論文集，67～68，1974. 10.
- 相関法による室内パルス，レスポンスの測定(石井聖光と共著)：日本音響学会講演論文集，81～82，1974. 10.
- M系列変調相関法による残響時間の測定—実験的検討—(石井聖光と共著)：日本音響学会講演論文集，85～86，1974. 10.
- 高架道路附近における騒音性状の検討(岩瀬昭雄・山口道征・石井聖光と共著)：日本音響学会講演論文集，431～432，1974. 10.
- 道路交通騒音とその周辺建物への伝搬(山口道征・石井聖光と共著)：生産研究，26，11，446～454，1974. 110.

助手 本多 昭一 (HONDA Shoichi)

プレハブリケーション史の研究(その2)——Pre=fab. 概念の変遷について——：日本建築学会大会学術講演梗概集, 8030, 1974. 10.

建築技術と労働(労働条件改善のための技術論の試み)：施工, 101, 147~158, 1975. 1.

プレハブリケーションとその可能性(60年代から70年代への変化)：GA, 3~10, 1972. 5.

助手 伊藤 利治 (ITO Toshiji)

レジンコンクリートにおける強度の温度依存性と荷重速度依存性(小林一輔と共著)：土木学会第29回年次学術講演会概要集第5部, 1974. 10.

膨張セメントの膨張圧に影響を及ぼす諸要因(小林一輔と共著)：土木学会論文報告集, 226, 67~72, 1974. 6.

助手 佐藤 暢彦 (SATO Nobuhiko)

地下埋設管の地震被害について(久保慶三郎・片山恒雄と共著)：土木学会第29回年次学術講演会講演概要集, 1, 1974. 10.

相関計を用いた振動計測について(久保慶三郎・片山恒雄と共著)：土木学会第29回年次学術講演会講演概要集, 1, 1974. 10.

Earthquake Observations at a 35,000kl LNG Tank (coauthors : T. Katayama, K. Kubo) : Bulletin of Earthquake Resistant Structure Research Center, No. 7, 1974. 4.

助手 宇田川邦明 (UDAGAWA Kuniaki)

繰返し載荷を受ける鋼製柱の曲げ振れ崩壊(高梨晃一・田中尚と共著)：日本建築学会大会学術講演梗概集, 1974. 10.

電算機一試験機オンラインシステムによる構造物の地震時崩壊の解析(高梨晃一・関松太郎・田中尚と共著)：生産研究, 26, 11, 1974. 11.

電算機一試験機オンラインシステムによる構造物の非線形地震応答解析(高梨晃一・関松太郎・岡田恒男・田中尚と共著)：日本建築学会論文報告集, 229, 1975. 3.

助手 重信 恒雄 (SHIGENOBU Tsuneo)

繰返し軸力を受ける鋼部材の復元力特性に関する研究(田中尚と共著)：日本建築学会大会学術講演梗概集, 1974. 10.

助手（特別研究員） 外山 知徳（TOYAMA Tomonori）

設計プロセス／道具の提案（共著）：彰国社，1974. 10.

ディテール用語のエコロジー（共著）：ディテール，40～43，彰国社，1974. 4. ～1975. 1.

建築技術とは／計画者の立場から（共著）：日本建築学会，1974. 10.

助手 斎藤 孝夫（SAITO Takao）

鉛直上昇流による砂の浸透破壊と残留空気量の測定（三木五三郎と共著）：第9回土質工学研究発表会，土質工学会，89～92，1974. 6.

ピサの斜塔の基礎地盤の調査と土質工学的特徴（三木五三郎と共著）：施工技術，8，2，20～30，1975. 2.

Swelling and Residual Strength Characteristics of Soils Based on a Newly Proposed “Plastic Ratio Chart” (coauthor : G. Miki) : Soils and Foundations, TSSMFE, 15, 1, 59～66, 1975. 3.

## E. 受賞

部名	官職	氏名	受賞名（賞を出した機関，団体名）	受賞対象の研究題目	年月日
第4部	助教授	井野 博満	ジェフリース賞（日本金属学会）	メスバウア効果を用いた Fe-Ni-Al 合金におけるスピノード分解の研究	1974.4.2
第3部	〃	榊 裕之	電子通信学会業績賞	MOS デバイスに関する基礎研究	1974.5.
第4部	助手	長谷川 洋	進歩賞（窯業協会）	ガラスの強度の研究	1974.5.27
第1部	教授	山田 嘉昭	日本鋼構造協会	マトリックス構造解析法の研究開発と普及活動	1974.6.4
第2部	〃	川井 忠彦	〃	〃	〃
〃	〃	鈴木 弘	浅田賞（社団法人日本鉄鋼協会）	タンデム圧延作業に関する研究開発と圧延技術の近代化の推進	1974.11.3